

琉球諸島のカミキリムシ

小 島 圭 三

(高知大学農学部こん虫学研究室)

林 匡 夫

(大阪城南女子短期大学生物学研究室)

国 吉 清 保

(琉球政府林業試験場)

渡 辺 弘 之

(京都大学農学部森林生態学研究室)

The Longicorn Beetles of Ryukyu Islands (Col. Ceramb.)

Keizô KOJIMA

(Laboratory of Entomology, Faculty of Agriculture, Kôchi University, Nangoku-Shi, Kôchi)

Masao HAYASHI

(Biological Laboratory, Osaka Jônan Women's Junior College, Osaka)

Seiho KUNIYOSHI

(Government Forest Experiment Station, Naha-shi, Ryukyu)

Hiroyuki WATANABE

(Laboratory of Forest Ecology, Faculty of Agriculture, Kyôto University, Kyôto)

は じ め に

琉球諸島は太平洋戦争までは鹿児島と沖縄の両県に属し、日本内地の一部であったのにもかかわらず、この地域のこん虫は台湾のこん虫のはなやかさの影に隠れてしまっていたかのように、一部のこん虫学者によって注目されただけで、十分な調査もされずに過ぎ去ってきた。

戦後かえって注目されはじめたのは、海外の領土の喪失による国土の狭小化に、異国感も加わったことであろう。しかし、一面、日本の本土とその属島のファウナの調査研究が進められ、相当な成果が上ってきたため、従来あまり調査されずに残されていた地域に、調査研究の努力が向けられてきたものとも解される。

もともと琉球諸島は後述するように生物地理学的には、きわめて注目されるべき地域であるので、このような情勢になりつつある機会に改めて、できるだけ十分な調査研究をしておく必要がある。

私達がここ数年来、行ってきた琉球諸島のカミキリムシの調査結果も、その意味で明らかにしておく責任があると思われる。またカミキリムシは農林業にきわめて関係が深い種類が多いので、応用こん虫学的にも、成虫の分類、分布ばかりでなく、生態的な面、植物との関連なども、多少なりとも明らかにしておかなければならない。

この報告は従来、琉球諸島から知られていたカミキリムシに、私達が採集したものと、さらに次の多くの方々のご援助によって研究することのできた標本による資料を加えて成ったものであるで、ここにそれらの方々に厚くお礼を申しあげる。

中条道夫博士, 浜 裕夫氏, 長谷川仁氏, 伊藤健夫氏, 川副昭人氏, 小西洋良氏, 黒沢良彦博士, 草間慶一博士, 丸岡 宏氏, 長尾丈七氏, 仲宗根平男氏, 野村英世氏, 野村好之氏, 岡部正明氏, 佐藤 納氏, 芝田太一氏, 素木得一博士, 上野俊一博士, 梅林満智也氏, 山崎 昭氏, 安井通宏氏 (アルハベツト順)。

また小島・国吉・渡辺の1962年の採集調査の際には, 新垣 守氏と琉球政府林業試験場・同林務課・琉球林業協会の関係者各位の多大なご援助とご協力を受けたので, それらの方々にも厚くお礼を申しあげる。

なお目録中, 種名の次に示した文献は, 特に必要でない限り, この報告で琉球諸島から初めて記録されるものについてはその原記載を, その他のものについてはその種を琉球諸島から最初に記録したものに限った。また記載した標本のデータは従来記録されなかったものだけを示した。また特に必要と考えられる場合には, 注を加えてある。採集者名はカッコ内に示したが, 私達の採集したものについては省略してある。

現段階では分類学的な検討の十分でなかったものは, 暫定的に先学の処理に従ったり, あるいは種名を決定せず sp. として残してあるが, いずれ多くの資料を得て, 正しいと考えられる種名を確定し, 改めて発表することにしたい。

なお, この報告には5亜科に含められる104属222種 (亜種を含む) を取り扱ったが, そのうち5種 (種名に*印を付したもの) はこの地域から初めて記録されるものである。

研 究 史

琉球諸島のカミキリムシについての研究は, 周辺の日本本土, 中国大陸, 台湾などの地域が, それぞれ Thunberg (1787), Förster (1771), Bates (1866) などによって報告され始めたのと同様に, やや遅れてまずヨーロッパの専門学者によって報告され始めた。すなわち琉球に在住したフランス人宣教師 Rev. J. B. Ferrié の採集品がフランス本国に送られ, 甲虫類の世界的収集家として著名であった René Oberthür* から更に若干の専門家に送付, 研究され, その結果が1890年の H. von Schönfeldt の4種の記録を初めとして, 以後甚だ断片的ではあるが発表されてきた。Fairmaire (1895, 1897), Gahan (1897), Vuillet (1911) などの報告がそれで, 同じ材料に基づく研究は近年に至っても行われている。同氏の没後パリの国立自然科学博物館に移された Oberthür collection が, 他の地域のものとともに再検討された結果が, クワカミキリ亜科 Lamiinae については Breuning (1954~1960) によって公表されていて, Ferrié の貢献を物語っている。

日本人による研究は1920年代の後半になって始まり, 鹿野忠雄 (1926) は日本産の天牛目録, 矢代弘孝 (1927) は沖縄県昆虫目録第1, 坂口総一郎 (1927) は沖縄県産昆虫総目録をそれぞれ報告した。カミキリムシ科の本格的な報告が現われたのは1930年代にはいつからであって, 鹿野忠雄 (1933), 松下真幸 (1932, 1933, 1934, 1938, 1941) などの力篇が現われた。鹿野博士は石垣島に在住した岩崎卓爾氏などの採集品によって, また松下博士は先にあげた坂口総一郎氏から北大に送付された標本に基いて, それぞれ若干の新種を報告しており, これらの業績が日本人専門学者による琉球産カミキリムシに対する本格的研究の第一歩といえよう。

一方, 台北にあった三輪勇四郎博士は琉球甲虫誌のシリーズとして西表島 (1933), 江崎佛三博士の採集品に基く与那国島 (1934) と奄美群島 (1935) を発表し, 水戸野武夫 (1940) は日本の天

* いくらかの紹介者, たとえば三輪 (1935) や岡田 (1938) は, Schönfeldt などの報告に用いられた標本の出所について, Ferrié のほかに "Oberthür の採集した" という表現をしている。しかし Oberthür は琉球諸島において自分で採集したことはないはずで, Oberthür Coll (lection) (収集品) を Coll (ected by) Oberthür (採集) の意に解されたのではあるまいかと思われる。

牛総目録中に琉球産の多くの種を新しく報告している。

また一方戦前、戦後を通じ、クワカミキリ亜科の世界的権威である Dr. Stephan von Breuning はきわめて莫大な量の新群・新型を記載報告するとともに、続々と各族毎に Monographic な再検討を出版し、その精力的な研究には全く追従を許さないものがあるが、その中でも琉球産のものを取り扱っているのが散見される。

戦後、水戸野 (1947) の小報告の後、最も注目すべき Gressitt (1950) の琉球産天牛の最初の総括が公表されている。その中には89種 (亜種を含む) を取り扱い、うち5新型が記載された。

1950年代に入り、琉球諸島に対する採集、調査が多数の専門家によって行なわれるようになった。その著名なものは1952~1953年の素木得一博士、1953年の大阪市立自然科学博物館の時から調査隊、1954年の高木貞夫博士ほかの北大隊、1960~1964年の芝田太一、野村英世、浜裕夫ほかの諸氏、1962年の小島圭三、国吉清保、渡辺弘之、1962~1964年の丸岡宏氏などの多くの島々における、いろいろの時期の調査であり、その収獲は林 (1956, 1957, 1960~1964) によって報告され、多数の新群、新型、未記録種とともに、多くの分類学的再検討が行なわれた。

また大林一夫 (1960, 1961, 1963, 1964)、Breuning と Ohbayashi (1964) は若干の新型を報告した。きわめて最近、Samuelson と Gressitt (1965)、Samuelson (1965) は日米合同科学研究の成果の一つとして、琉球諸島全域のカミキリムシを再び総括し、198種 (亜種を含む) を取り扱い、うち8種を新しく報告している。

分布学的考察

研究史及び参考文献の欄を参照して既に明らかなように、琉球のカミキリムシについての報告は、ごく近年まで甚だ断片的なもので、その要素の分布学的分析などは行ないうる段階ではなかった。しかし一方他の生物群については、かなり以前から、多くの重要な研究が知られている。それらのうち比較的初期の研究は岡田弥一郎博士によって総括されている〔沖縄島の概説、1938, Biogeographica, 3 (1) : 1~64, 1 pl.〕。また琉球諸島は多くの研究者の既に指摘したように、いわゆる東洋区と旧北区の境界に位置するので、従来この両区の境界線をいずれの島々の間に引くかについては、取り扱う生物群によって多くの研究者によるいろいろの説が提出され、非常に活発な論議が行なわれて来た。その概要は徳田御稔博士によって要約されている (日本生物地理, 1941 : 1~201, 2 maps)。

その中で徳田博士は (1) 現在ある一定の地域を占めている生物の中には、その地方の地史と密接に関連し発達したものと、地史と無関係に二次的に渡来したものとあるから、これらの全体を無差別に取り扱い、生物地理を論ずるときは無意味である。(2) また、生物は、種類によって進化の速度を異にするから、同じように1地方の地史と深い関係を保って発達したものでも、これらを全部同格に取り扱うことはできない。従って各資料のもたらす意義を個々別に検討することが望ましい。(3) 現在の生物地理学において制定されている生物分布区劃は、世界各地の生物相を平面的に見たものにすぎないから、制定された区劃にしばしば無理が認められている。たとえば、東洋区に属する地方の高地帯にしばしば旧北区系の生物の分布を見るときことがある。台湾の低地にある生物は、明かに東洋区系であるが、高山帯のものは旧北区系のものが多い。また沖縄諸島の生物には印度方面より最近に渡来したものと、氷期以前よりこの地に土着している中新世生物の残影があり、これらは同じく南方系のものであっても、厳密に区別して論じられなければならない。

世界の生物相はこれを発生的に見る時に初めて真の立体的の姿を理解し得るのであり、生物分布を平面的のみに見ていたのでは、どうい正確なる生物地理の概念はつかみ得ないのである。現在制定されているとき世界生物分布区劃は、将来単に便宜的なものとしてのみ、その価値を止める

ものにすぎないであろう。と結論した。

琉球諸島に限らず、日本列島、台湾などにあっても、そこに現在発見されている1群の生物は対岸のアジア大陸に現在発見されている同1群の生物と全く区別できないものもあろうし、亜種あるいは種的に区別されなければならないもの、さらにはその島々で特有の個有属を形造るまでに変化しているものもあるであろうから、それらを十分識別することが先ず必要である。さらに従来提唱された多くの分布境界線の基となった動物群、すなわち、ほ乳類、鳥類、魚類、は虫類、両生類などから陸産貝類やこん虫類などでは、それぞれの類に特有の進化の歴史をもち、地史とかれら自身の歴史との関係においても、それぞれの生物群の間に大きな時間的なずれがあって同じではない。一方大陸においても、また大陸周縁の島々においても地殻変動が行われ、該当の地域が大陸の1部であった時、分離して島となった時、あるいは海没した時、いくらかの島々がお互いに連絡した時、その連絡が切断された時などいろいろの状態の下で分布が拡大され、あるいは阻止され、隔離されたなどのことが起ったことを考える必要がある。

琉球諸島の範囲はいろいろの説があるが、ここでは、とから列島（鹿児島県十島村）以南八重山群島までを含むものとして取扱っている。地理的にはとから、奄美、沖縄、先島（宮古十八重山）の4～5島群に分割されている。地質構造的には内、中、外の3帯、あるいはその中・外を合して単に内、外の2帯からなり、それぞれ西南日本の内、外帯に関連するが、その内帯はとから、沖縄西側の小島から台湾北方の小島群を含む火山性のもので、外帯は琉球の主体をなしている各島をすべて含み、古い時代の基岩から成っている。徳田（1941）は主として現生ほ乳類の研究から奄美、沖縄両島が琉球諸島中では最も古く大陸から離れ島化したものではないかと想定されているほか、とから列島の宝島の北に存在する深い海溝の成立は古く第3期末にさかのぼることができることをハブの分布から論及していることは注目される。気候は亜熱帯的で高温多湿、海洋性で年間変動も少く雨量が多い。

従来、琉球諸島のカミキリムシの分布を論じたものは少なく、松下（1933）、Gressitt（1950）、林（1962）、Samuelson と Gressitt（1965）があるにすぎない。

松下真幸（1933）は日本帝国産天牛類総説の末尾において、¹琉球産天牛類中18種は台湾と、9種は日本と、また7種は南アジア大陸との共通種であり、11種は特産種であるとし、さらに琉球はインド亜区に属し、台湾のファウナの南部に特に似ているが、一方北の大部分は東アジア要素を混じており、従って日本のファウナに関連している。と述べている。当時は琉球産の標本も甚だ少なく、分布を論じるには無理があったであろうが、取り扱った種の中には *Allotraeus asiaticus*（Schwarzer）の沖縄からの記録（目録中の該当種の項参照のこと）のような誤同定かと思われるものが唯1種あるが、ほかには *Neosalpinia lepturooides* を初め11種の新種の報告など、いずれも現在の知見の範囲でも正しいと考えられるものばかりで貴重な研究といえよう。

Gressitt（1950）は初めて琉球諸島の天牛類を総括し、89種を記録、その所属する47属中7は全北区系、36は東洋区系、4は広くアジアに広がるコスモポリタンであり、また26の個有種の類縁関係を求めると唯1が旧北区系であり、25はすべて東洋区系であったとした。また63の他との共通種では、旧北区系は10、東洋区系は52、残余の1はアメリカ（新熱帯）系（この種の分布記録は甚だ疑わしい）にそれぞれ関連し、また63のうち31は日本と共通、14は日本と朝鮮とに共通、8は日本と北中国に共通、1は遠くシベリヤ・ヨーロッパに拡がり、一方43は台湾と共通、12は台湾と南中国とに共通、3は台湾と紅頭島に共通（そのうちの2は台湾とフィリピンとに共通）であり、4はアジア南部及び東インド諸島に広く分布するものであるとした。また1は海南島と共通であるが台湾に見出されず、16は台湾と日本の両方にまたがり、19は中国にも分布するものであったとした。

Samuelson 及び Gressitt（1965）は、再報告中、琉球諸島は日本南部、台湾及び中国大陸などのような近傍と地域と連った時代に違った連絡があったこと、その連絡は一緒の場合も、別々の場合

もあり、たとえば日本と台湾を連ねるものもあり、また時には台湾から中国南部を連ねる半島としての場合もあり、台湾のみと連絡したこともある。カミキリ科の場合には特に日本との関連性がみられるが何と云っても、台湾及び中国南部との関連性は強く、琉球のファウナの性格はいわゆる東洋区のものが大分であると述べ、所産の96属198種中69は元来東洋区系のもので、9は東アジア系、3は広分布性コスモポリタン、1は旧世界、3はフィリピン系、1は南方広分布系、10は両北または旧北区系であり、3つの個有属はすべてその系統が東洋区系のものであるとし、非個有種101中、9は北中国に、16は朝鮮に、27は南中国に、50は日本（特に南日本）に、64は台湾に、8は紅頭島に、4はフィリピンに、10は海南島に、6はマイクロネシアに、7は東南アジアに、9はビルマ・インドに、1はヨーロッパにそれぞれ共通する。97個有種の近縁性を求めると5は東アジアに、1は北中国に、1は朝鮮に、63は南中国あるいは台湾に（細分すれば28は南中国に、35は台湾により近い）、20は日本に、1は紅頭島に、3はフィリピンにそれぞれ求めることができたとした。

林（1962）は琉球諸島の天牛相の分析（予報）と題して講演し、179種を取り扱ったが、その後明らかになった種を加え、この報告で扱う222種について再び考察すると、222種のうち、特産種114、他との共通種108（特産種を蔽する率52.3%）となる。また林が先に行った日本産天牛類を材料としたいわゆる「分布帯論」の方法によって、この222種を分析すると、第1分布帯要素1、第2分布帯要素は11（共通種5、特産種6）、第3分布帯要素は69（共通種33、特産種36）、第4分布帯要素は141（共通種70、特産種71）となり、日本本土よりは当然ながら第3・4分布帯要素が増加している。〔日本本土の場合、第1分布帯要素71（58, 13）、第2分布帯要素、185（80, 105）、第3分布帯要素、108（41, 67）、第4分布帯要素、150（55, 95）〕。換言すれば第1分布帯要素は全くないといってよいほどに減少し、第2分布帯要素も痕跡的といえるほどに減少していることが先ず注目される。これら北方の要素は、とから列島、奄美、沖縄に留まり、それ以南に及んでいないが、これは八重山群島における今後の春の調査によっても変更をみないであろうか、どうか興味ある問題である。また当然のことながらより南方の諸島群に向うにつれ第3・4分布帯要素の比率が変化し、だんだん第4分布帯要素がより優勢となるのは、従来このような処理があまり行われていなかっただけに（いわゆる南方系・北方系という概念的なものはあったにしても）、興味があるが、このような強い較差が上と同じく今後の八重山群島における春の調査で弱まるか否かということもあわせて興味のある問題である。特産種を蔽する率の高いものは、奄美大島（48.6%）、西表島（41.2%）、沖縄（40.1%）、石垣島（34.6%）などがある。

第1表 各島別共通種数一覧

	日 本	熊 毛	と か ら	奄 美	徳 之 島	沖 永 良 部	与 論	沖 縄	宮 古	石 垣	西 表	波 照 間	与 那 国	台 湾	紅 頭 島	中 国
と か ら	15	15	22	19	4	2	1	17	2	7	7	4	2	11	4	6
奄 美	35	30	19	59	11	4	2	35	5	20	18	7	8	35	5	14
沖 縄	25	19	17	35	7	4	2	47	7	23	22	11	7	32	5	14
宮 古	4	4	2	5	1	1	1	7	10	10	8	4	3	9	0	3
石 垣	15	12	7	20	5	4	2	23	10	47	30	10	9	39	3	12
西 表	11	9	7	18	4	4	2	22	8	30	37	8	10	32	4	8
波 照 間	5	5	4	7	1	1	0	11	4	10	8	11	1	7	1	3
与 那 国	6	5	2	8	4	3	2	7	3	9	10	1	13	12	2	5

各島間の共通種数をみると、とからと奄美、奄美と沖縄、奄美と台湾のそれぞれ相互間、石垣・西表の相互間、それぞれと台湾との相互間および与那国と台湾との関係は、他に比して強い関連性

第2表 亜科別分布要素一覧

	総 数	共 通 種	特 産 種	特 産 率%	分 布 帯 区 分							
					I	I'	II	II'	III	III'	IV	IV'
Prioninae	8	4	4	50.0					1	3	3	1
Aseminae	2	2		0.0	1				1			
Lepturinae	13	4	9	69.2				2	2	5	2	2
Cerambycinae	69	37	32	46.3			4	4	12	12	21	16
Lamiinae	130	62	68	52.3			1		17	16	44	52
計	222	108	114	51.3	1		5	6	33	36	70	71

をもつことが明らかになるであろう。さらに詳しくみると台湾と奄美以北に共通し、間の沖縄・八重山とは別亜種が産する *Olenecamptus bilobus* のようなもの、奄美・沖縄に共通し、八重山・台湾、とから、屋久島・種子島、日本本土、対馬・中国大陸にそれぞれ別の種・亜種がみられる *Psacotha hilaris*, *P. teneburosa* のようなものなど、甚だ複雑な分布状態を示している。これらはすでに林 (1960) が指摘したように、全部の種が必ずしも同時に分布したのではなく、その間に歴史的な時間の相違をもっていること、種類自体の古さ、新しさ、進化のスピードの違いなどに解決を求めるべきであるが、特に琉球のような小さい島々の場合、日本及び大陸内部などより分析がやや楽ではないかと考えられる。

先に日本の天牛相の分析で、第4分布帯の将来の分割を示唆しておいたが、これは日本のファウナではこの要素の主要的なタイプが全部はみられないため、当時細分を行わなかったものである。しかし琉球諸島のファウナではかなりのタイプがみられるので、初めてそれが可能となって来た。もちろんマレイ諸島や東南アジアの豊富なファウナとは比べものにはならないから、一応いくらかの特殊なタイプを示せるに過ぎない。 *Longipalpus* に代表される赤道中心にサモア、フィジー、ニューカレドニアからオーストラリア北部、ニューギニア、ニューブリテン、マイクロネシア、琉球及びマダガスカル付近にのびる横長い分布型 (Hayashi, 1961, *Ceram. from New Caledonia*, (Col.) Part I, Bull. Osaka Mus. N.H., 13: 7-65, 3 pls. 参照), *Micromulciber*, *Bumetopia* に代表されるいわゆる Tmesisternini Complex (Tmesisternini, Trigonosterini, Crinotarsini 及び Homonoceini) のもつニューゼaland, オーストラリアの1部, ニューカレドニア, フィジー, ニューギニア, ソロモン, ビスマルク, セレベス, ミクロネシア, フィリピン, 台湾, 紅頭島を経て琉球, 九州から伊豆八丈島に至るが, アジア大陸及びマレイ諸島中の大島 (ボルネオ・スマトラ・ジャバなど) には分布しない分布型, *Comusia* 及び少しこれとは相違するものの似た *Leptepania* のもつ, 日本, 琉球, 小笠原, フィリピン, ニューギニア, マレイ半島, インド, 南ベトナムなどを包含する分布型などは, Gressitt が Tmesisternini Complex* で述べたように, おそらく甚だ古い型のいわゆる primitive な群であって, アジア大陸にその祖先型をもち, 各地に分布を拡大したが, その後さらに進化した近縁の群が大陸では発現して, 圧倒され, 現在では大陸では著しく劣勢となるか, 全くその分布を認められなくなったが, これらの島群では大陸との連絡が断たれたため, 後続のより進化した群の進入がなく, これらの primitive な群の生存が許されたものと考えられる。特に注意すべきは, 従来東南アジアから南中国及び台湾までには見出されていたが, 先年八重山群島で発見された *Opepharus (Zephyropepharus) asiaticus* の存在である。この種の含まれる *Opepharus* は, 琉球, 台湾, トンキン (北ベトナム), カンボジア, マダガスカル, 東アフリカに伸びる分布をもち, 先に林が指摘したようにハナカミキリ亜科の primitive な群中にもみられるアジア南部とマダガスカルとの関係を証明する有力な資料の1つである (Hayashi,

1960, Study of the Lepturinae, Niponius, 1 (6) : 1—26, 25 figs.]). そのほか大部分を占めるものは、第3分布帯要素ではその典型的な中国西南部に関係をもつもの、第4分布帯では同じくその典型的な台湾、南中国、東南アジアに関係をもつ従来の Indo-Chinese インド支那亜区系と台湾、南中国、東南アジア、マレイ半島、マレイ諸島西部の大島と関連をもつ従来の Indo-Malayan インドマレイ亜区系などがある。また興味のあるものは *Clytus fukienensis* のように中国東部揚子江南岸に関連性を持ち、そのままの種と認められるものが奄美に多産することである。日本本土西南部に分布する *Lemula* 属のハナカミキリ類も同じく中国東部揚子江南岸(浙江・福建)とだけに発見され、互いにきわめて近似する別種をそれぞれ産するものであるが、これは、いわゆるソハヤ紀系の植物の分布とこの *Lemula* などのカミキリムシの分布とは、奄美と中国東部揚子江南岸との関連を裏付けし、さらにそれよりも古い時代の連絡までを暗示するものとして興味がある。

琉球諸島のカミキリムシは、まだまだ調査が不十分であるので、従来調査の及ばない所はもちろん、変った時期に反復調査を実施することによって、まだまだ多くの種類が発見されることが想像される。日本本土のカミキリムシはかなり詳しく調べられて来たが、台湾や中国大陸などの調査はまだまだ緒口についたばかりであるから十分な比較研究ができないうらみがある。

既に判明しているだけでも甚だ遠い地域の種や属と意外な関連をもつような琉球諸島のカミキリムシを、今後できるだけ広い視野に立った正確な知識を以て本当に正しく理解することが必要であろう。

* Gressitt, J. L., 1956, Some Distribution Patterns of Pacific Island Faunae, Syst. Zool., 5 (1) : 11~32, 47, 9 maps.

琉球諸島のカミキリムシ目録

CERAMBYCIDAE カミキリムシ科

I. Prioninae ノコギリカミキリ亜科

Parandrini

1. *Parandra formosana* Miwa et Mitono ニ
セクワガタカミキリ
Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 15 (2) :
51, pl. 7, fig. 1
分布：石垣島；台湾。
2. *Parandra shibatai* Hayashi アマミニセク
ワガタカミキリ (新称)
Hayashi 1963, Ent. Rev. Japan, 15 (2) :
50
分布：奄美大島；紅頭島。

Macrotomini

3. *Macrotoma (Bandar) fisheri* Waterhouse
subsp. *obscuribrunnea* Hayashi コゲチャ
トゲフチオオウスバカミキリ
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 15 (1)
: 2, pl. 1, fig. 1
分布：石垣島・西表島。

Eurypodini

4. *Eurypoda (Neoprion) batesi* Gahan ベー
ツヒラタカミキリ
Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8) : 3
分布：とから列島 (中の島)・奄美大島・徳之
島・沖縄；本州・四国・九州・西南中国・ト
ンキン国境。

Megopidini

5. *Megopis (Aegosoma) sinica* (White) subsp.
sinica (White) ウスバカミキリ
Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8) : 6
分布：とから列島 (中の島)・奄美大島・沖縄；
日本全土・小笠原諸島・朝鮮・台湾・中国・
ビルマ。
6. *Megopis (Aegosoma) validicornis* Gressitt
フトヒゲウスバカミキリ (新称)

Gressitt, 1950, Philip. Jl. Sci., 79 (2) :
205

分布：石垣島。

7. *Megopis (Spinimegopis) kawazoei* Hayashi
アマミトゲウスバカミキリ
Hayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13 (2) :
36, pl. 9, fig. 2
分布：奄美大島。

Anacolini

8. *Psephactus remiger* Harold subsp. *insularis*
Hayashi クロコバナカミキリ
Hayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13 (2)
: 37, pl. 9, fig. 3
分布：奄美大島；屋久島。

II. Aseminae マルクビカミキリ亜科

9. *Spondylis buprestoides* (Linné) クロカミ
キリ
Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8) : 1
分布：とから列島 (中の島)・奄美大島・沖
縄；日本全土・旧北地方北方全域。
10. *Arhopalus (Cephallalus) unicolor* (Gahan)
ツシمامナクボサビカミキリ
Hayashi, 1960, Ent. Rev. Japan, 11 (1)
: 22
沖縄—1♂ 1♀ 与那 2, 3. vi. 1962, 29 exs.
8. v. 1963 (野村)* (*Pinus* sp. の伐採木上)。
分布：奄美大島・沖縄；本州・四国・九州・対
馬・朝鮮・中部中国・アッサム。

III. Lepturinae ハナカミキリ亜科

Tribe?

11. *Neosalpinia lepturoides* Matsushita ケブ
トハナカミキリ
Vesperus budius Matsumura : Sakaguchi,
1927, Prov. Lists Ins. Okinawa (Nom.
nud.)
Neosalpinia lepturoides Matsushita, 1933,

* 採集者名は () 中に示すが、著者らが採集したものは省略した。

- Jl. Fac. Agr. Hokkaido Univ., 34 (2) : 302, pl. 2, figs. 15a-b
 沖縄—1[♂] ex. 矢部 6. v. 1961; 3 ex. 首里 15. v. 1962; 2 ex. 与那 2. vi. 1962.
 分布：奄美大島・徳之島・沖縄；本州・四国・九州・屋久島。
- Lepturini
12. *Pesudallosterna takagii* Hayashi クロチャボハナカミキリ (新称)
 Hayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13 (2) : 38, pl. 9, fig. 4
 奄美大島—1♂ 1♀ 波津野 8, 10. iv. 1965 (丸岡).
 分布：奄美大島。
13. *Marthaleptura dissimilis* (Fairmaire) ニイタカハナカミキリ
Aredolpona dissimilis : Hayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13 (2) : 39, pl. 9, fig. 5
 分布：奄美大島；台湾・中部中国。
14. *Marthaleptura hirayamai* (Matsushita et Tamanuki) タテスジハナカミキリ
Aredolpona hirayamai : Hayashi, 1961, Ent. Rev. 13 (2) : 39, pl. 9, fig. 6
 分布：奄美大島；台湾。
15. *Leptura amamiana* Hayashi subsp. *amamiana* Hayashi アマミヨスジハナカミキリ
Leptura aurotopilosa Matsushita subsp. *amamiana* Hayashi, 1960, Ent. Rev. Japan, 11 (1) : 22, fig. 2
Leptura amamiana : Hayashi, 1961, 1. c., 13 (2) : 39, pl. 9, fig. 7
Leptura ochraceofaseciata Motschulsky subsp. *amamiana* : Ohbayashi, 1963, Fragm. Coleopt., 2 : 9
 分布：奄美大島。
16. *Leptura amamiana* Hayashi subsp. *watanabei* Hayashi オキナワヨスジハナカミキリ (新称)
 Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 15 (1) : 2, pl. 1, fig. 2
 分布：沖縄。
17. *Paranaspia coccinea* (Mitono) ヒオドシハナカミキリ
Strangalia (Paranaspia) coccinea : Tamanuki, 1942, Fauna Nippon., 10 : 8, 15 : 165, fig. 202
Leptura (Pedostrangalia) coccinea : Gressitt, 1950, Philip. Jl. Sci., 79 (2) : 207
 分布：琉球 (詳細なデータ不明)；台湾。
18. *Strangalia (Mimostrangalia) longicornis* Gressitt ヒゲナガホソハナカミキリ
Strangalia (Strangalina) longicornis Gressitt, 1934, Philip. Jl. Sci., 55 : 351
 沖縄—1 ex. 有銘 17. vi. 1959.
 分布：奄美大島・沖縄 (新記録)。
19. *Strangalia (Strangalia) gracilis* Gressitt オオシマホソハナカミキリ
Strangalia (Strangalina) gracilis Gressitt, 1934, Philip. Jl. Sci., 55 : 381
 分布：奄美大島。
20. *Pygostrangalia (Idiostrangalia) maruokai* Hayashi マルオカホソハナカミキリ (新称)
Pygostrangalia (Idiostrangalia) maruokai Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 15 (2) : 52, pl. 7, fig. 2
 分布：奄美大島。
21. *Parastrangalis lateristriata* (Tamanuki et Mitono)* クロスジホソハナカミキリ
Strangalomorpha lateristriata Tamanuki et Mitono, 1939, Tr. N. H. Soc. Formosa, 29 (191) : 209, fig. 2
 石垣島—1♂ おもと岳 28. iii 1965 (佐藤).
 注：この石垣島産の1♂標本を台湾産の標本に比較すると、若干の相違点をもっているため、さらに多くの標本群について研究して、分類学上の正しい取扱いを決定したいと考えている。それまで一応原種と認めておきたい。
 分布：石垣島 (新記録)；台湾。
22. *Ephies* sp. モウセンハナカミキリの1種
 沖縄—1♀ 有銘 17, vi, 1959.
 分布：奄美大島 (Nakane & Ohbayashi, 1961)・沖縄。

23. *Formosopyrrhona satoi* (Hayashi) アマミ
アカハネハナカミキリ
Pyrocalymma satoi Hayashi, 1957, Ent.
Rev. Japan. 13 (2) : 45, fig. 1
分布：奄美大島.

IV. Cerambycinae カミキリ亜科

Methiini

24. *Comusia testacea* (Gressitt) オガサワラチ
チャイロカミキリ
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan. 15 (1)
: 3, pl. 1, fig. 3
分布：奄美大島；小笠原諸島.

Achrysonini

25. *Nortia carinicornis* Schwarzer カバイロマ
ルクビウスバネカミキリ
Matsushita, 1938, Kontyu, 12 (3) : 94
沖縄—1♂ 1♀ 与那 2. vi. 1962. 西表島—
1ex. 20. vii. 1962 (丸岡). 奄美大島—1♂,
波津野 15. vi. 1963 (野村).
分布：奄美大島・沖縄・西表島；台湾.
注：Samuelson & Gressitt (1965) は奄美大島産のもの
を区別し, *N. pruinicollis* Gressitt として記
載しているが, 沖縄産のものについてはふれていな
い。

26. *Pseudaeolesthes kurosawai* Gressitt アマ
ミキマダラヤマカミキリ (新称)
Gressitt, 1965, Pacific Ins., 7 (1) : 62,
fig. 3
分布：奄美大島・徳之島.

Cerambycini

27. *Margites fulvidus* Pascoe キイロミヤマカ
ミキリ
Gressitt, 1950, Philip. Jl. Sci., 79 (2) :
196, 207
沖縄—1♂ 1♀ 与那 2. vi. 1962.
分布：とから列島 (中の島) ・奄美大島・沖
縄；本州・四国・九州・対馬・台湾・西南中
国.

Hesperophanini

28. *Stromatium longicorne* Newman イエカ

ミキリ

- Yashiro, 1927, Okinawa Sugar Exp. Sta.
Bull. 1 : 8
与那国島—1♂ 12. viii. 1959 (岡部). 沖縄
—1♂ 本部 18. viii. 1959 (岡部) ; 1♀ 那
覇 20. viii. 1960 (岡部) ; 2♂ 首里 11.
vi. vii. 1961, 2♀ 5, 30. viii. 1961, 1♂
1♀ 15, 17. vi. 1963 ; 2♂ 3♀ 許田 27.
vii. 1961 ; 1♂ 1♀ 名護 vii. 1963 (岡部)
(トキワギョリウの枯木より羽化). 石垣島—
1♀ 14. viii. 1960 (岡部).
分布：奄美大島・徳之島・沖永良部島・与論島
・喜界ガ島・沖縄・宮古島・石垣島・西表島
・北大東島・与那国島；小笠原諸島・アッサ
ム・ビルマ・フィリッピン・南中国・海南島
・台湾・東南アジア・マレー諸島.

注：幼虫の形態は, げんせい (11), 1961 に報告した。

29. *Gnatholea biseburata* Mitono フタツメイ
エカミキリ
Mitono, 1939, Mushi, 12 : 148
注：林は東京の国立科学博物館に奄美大島産の本種の
1標本 (皇居内御研究所) が所蔵されているのを検
した。
分布：奄美大島・石垣島；台湾.

Phoracanthini

30. *Allotraeus* (*Allotraeus*) *sphaerioninus*
Bates トビイロカミキリ
Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus.
N. H., 9 : 13
分布：とから列島 (中の島) ; 本州・四国・九
州・対馬・屋久島・種子島.
31. *Allotraeus* (*Nysina*) *amamiensis* Hayashi
アマミトビイロカミキリ
Hayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13 (2)
: 42, pl. 10, fig. 10
分布：奄美大島・沖縄.
注：Samuelson & Gressitt (1965) は, Matsushita
(1933) によって沖縄から報せられ水戸野 (1947),
Gressitt (1950) がこれに従っている *Allotraeus*
(*Nysina*) *asiaticus* (Schwarzer) を, 松下博士が
その記録に用いられたと思われる標本 (北大所蔵)
を再検討して, *A. (N.) amamiensis* Hayashi
であろうとした。
32. *Allotraeus* (*Nysina*) *insularis* (Mitono)

オキナワトビイロカミキリ

Pseudallotraeus insularis Mitono, 1947, Mushi, 18: 25

沖縄—1♀ 首里 13. v. 1962.

分布: 沖縄・西表島.

Callidiopini

33. *Ceresium simile* Gahan チャイロヒメカミキリ

Plavilstshikov, 1932, Best.-Tab. Col., 102, Ceramb. 2: 45

分布: とから列島・奄美大島・沖縄・波照間島; 小笠原諸島・伊豆諸島(八丈島・三宅島・式根島・新島・神津島)・冠島.

34. *Ceresium holophaeum* Bates ヨコヤマヒメカミキリ

Matsushita, 1933, Jl. Fac. Agr. Hokkaido Univ., 34(2): 301

分布: 沖縄; 日本全土.

35. *Ceresium sinicum* White subsp. *shirakii* Hayashi テツイロヒメカミキリ(八重山亜種)

Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 15(2): 52

分布: 石垣島.

注: なお Gressitt (1950) は *Ceresium sinicum* White を石垣島から報告している.

36. *Ceresium longicorne* Pic ヒゲナガヒメカミキリ

Matsushita, 1933, Jl. Fac. Agr. Hokkaido Univ., 34(2): 302

与那国島—1 ex. v. 1957(岡部); 1♂ 祖納 20, vii. 1962(野村); 17 exs. 15. iv. 1963(野村). 石垣島—2 exs. 30. viii. 1961(岡部); 6 exs. 石垣市 19, 20, 22. v. 1962, 2 exs. 4, 14. x. 1963; 14 exs. おもと岳 2, 4. viii. 1962(野村), 19 exs. 19, 29. iv. 1963(野村); 5♂ 4♀ 真栄里山 2. viii. 1962(丸岡); 3 exs. 15, 26. vii. 1963(浜). 沖縄—1 ex. 首里 21. xi. 1961, 1 ex. 4. v. 1962; 3 exs. 与那 2, 3. vi. 1962, 1 ex. 6. v. 1963(野村), 1 ex. v. 1964; 1 ex. 名護

4. vi. 1962; 6♂ 3♀ 与那覇岳 9. viii. 1962(丸岡); 1 ex. 伊豆味 11. v. 1963(野村); 2 exs. 中城 14. v. 1963(野村). 西表島—2 exs. 大原 26. v. 1962, 1♀ 17. vii. 1962(野村), 1♀ 20. vii. 1962(丸岡); 5 exs. 大富 27~29. vii. 1962(野村・浜); 9 exs. 白浜 22. viii. 1963(野村), 28 exs. 20. vii. 1963(浜), 9 exs. 4~12. x. 1963; 6 exs. 稲葉 21. vii. 1963(浜); 18 exs. 波照間森 24. vii. 1963(浜).

分布: とから列島・奄美大島・徳之島・沖縄・石垣島・西表島・与那国島; 九州・台湾・紅頭島.

37. *Ceresium fuscum* Matsumura et Matsushita リュウキュウヒメカミキリ

Matsumura et Matsushita, 1932, Ins. Matsum., 7(1&2): 67, fig. 1

沖縄—3 exs. 首里 27. iv. 1960, 6 exs. 17. iv~8. v. 1961, 109 exs. 1. v~10. vi. 1962, 1 ex. 18. v. 1963; 2 exs. 名護 25. v. 1961(岡部)(トキワギョリュウの枯木より羽化), 1 ex. 4. vi. 1962; 6 exs. 与那 2, 3. vi. 1962, 6 exs. 27. iv. 1964. 石垣島—4 exs. 石垣市 20~25. 1962. 西表島—1 ex. 大原 25. v. 1962.

分布: とから列島・奄美大島・徳之島・沖永良部島・沖縄・石垣島・西表島・波照間島; 四国・九州・種子島.

注: 幼虫の形態は比和科学博物館研究報告(8), 1965に報告した.

38. *Ceresium zeylanicum* White セイロンヒメカミキリ

Hayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13(1): 42

Ceresium elongatum Matsushita, 1933, Jl. Fac. Agr. Hokkaido Univ., 34(2): 301

Ceresium flavipes (Fabricius): Hayashi, 1960, Ent. Rev. Japan, 11(1): 23

沖縄—1 ex. 首里 10. vi. 1962; 1 ex. 与那 3. vi. 1962, 3 exs. v. 1964.

分布: 奄美大島・沖縄・石垣島・西表島・波照間島; 台湾・ボルネオ・スマトラ・セイロン・アッサム・テナッセリム.

39. *Parasalpinia kojimai* Hayashi コジマク
ロオビヒメカミキリ (新称)
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 15 (1)
: 4, pl. 1, fig. 4.

分布: 西表島.

40. *Stenodryas clavigera* Bates アメイロカ
ミキリ

Hayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13 (2)
: 43

石垣島—4 exs. おもと岳 19, 29. iv. 1963
(野村). 沖縄—1 ex. 与那 8. v. 1963 (野
村).

分布: 奄美大島・沖縄・石垣島・西表島; 本州
・四国・九州・種子島・対馬・台湾.

41. *Stenygrinum quadrinotatum* Bates ヨツ
ボシカミキリ

Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8) : 67

分布: 奄美大島・徳之島; 日本全土・朝鮮・中
国・ビルマ・北インド.

Obrini

42. *Obrium* sp. アメイロカミキリの1種

石垣島—1 ex. おもと岳 15. vii. 1963 (浜),
1 ex. 6. vii. 1964 (小西).

分布: 石垣島.

43. *Psudiphra obscura* Gressitt ウスグロアメ
イロカミキリ (新称)

Gressitt, 1950, Philip. Jl. Sci., 79 (2) :
198, 210, fig. 1

沖縄—1 ex. 恩納 6. vi. 1960 (仲地).

分布: 奄美大島・徳之島・沖縄・石垣島・西表
島.

44. *Stenhomalus taiwanus* Matsushita タイワ
ンメダカカミキリ

Stenhomalus cleroides : Gressitt (nec Bates),
1935, Ins. Matsum., 9 (4) : 148

石垣島—2♀ 30. vii. 1962 (丸岡).

分布: 沖縄・宮古島・石垣島・波照間島; 日本
全土・種子島・対馬・台湾.

45. *Longipalpis dilatipennis* Gressitt リュウ
キュウヒメアメイロカミキリ

Iphrobium dilatipenne Gressitt, 1935, Ins.

Matsum., 9 (4) : 151

沖縄—1 ex. 首里 24. v. 1958 (仲地).

分布: 奄美大島・沖縄・石垣島・西表島.

Thranini

46. *Thranius obscurus* Hayashi ウスグロホソ
バナカミキリ (新称)

Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (1)
: 8, pl. 2, fig. 2

奄美大島—1♀ 波津野 18. vi. 1963 (野村).

分布: 奄美大島.

47. *Thranius rufescens* (Bates) ムモンチャイ
ロホソバナカミキリ

Singalia rufescens Bates, 1884, Jl. Linn.
Soc. London Zool., 18 : 258

奄美大島—1 ex. 奄美大島から採集した材より
羽化 (丸岡).

分布: 奄美大島 (新記録); 九州・福岡県沖の
島.

48. *Thranius multinotatus* Pic subsp. *latipen-*
nis Hayashi ヤエヤマホソバナカミキリ (新
称)

Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 15 (2)
: 53, pl. 7, fig. 3

分布: 石垣島・西表島.

Molorchini

49. *Epania kumatai* Hayashi クマタヒメコバ
ネカミキリ (新称)

Hayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13 (2)
: 45, pl. 10, fig. 19

奄美大島—Many 波津野 16. iv. 1963 (丸
岡).

分布: 奄美大島.

50. *Epania* sp. ヒメコバナカミキリの1種.
西表島—1♀ 18. vii. 1962 (丸岡).

分布: 西表島.

注: 現在種名を確定できない.

51. *Epania subglabra* Gressitt クロヒメコバ
ネカミキリ

Hayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13 (2)
: 46, pl. 10, fig. 20

分布: 奄美大島; 台湾.

52. *Leptepania ryukyana* Hayashi リュウキ
ユウチビコバナカミキリ (新称)
Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 15 (2)
: 54, pl. 7, fig. 5, 6
分布: 奄美大島.
53. *Merionoeda (Ocytasia) septentrionalis*
Tamu et Tsukamoto subsp. *rubriventris*
Hayashi ニッポンモモブトコバナカミキリ
(琉球亜種)
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (1)
: 8 pl. 2, fig. 1
沖縄—1♀ 嵩江 12. vi. 1959; 6♂ 2♀ 与
那 2, 3. vi. 1962. 西表島—1♂ てどー山
24. iv. 1963 (野村); 1♀ 大原 27. iv. 1963
(野村).
分布: 奄美大島・沖縄・西表島.
注: 沖縄, 八重山の個体群は奄美大島から記載された
subsp. *rubriventris* Hayashi とはさらに若干の
点で形態的に相違する.
54. *Molorchus (Linomius) shibatai* Hayashi
シバタヒゲナガコバナカミキリ (新称)
Hayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13 (2)
: 44, pl. 10, fig. 11
Molorchus takeuchii: Seki (nec Ohbayashi),
1944, Ins. World, Gifu, 48 (562): 12
奄美大島—Many 波津野 14. iv. 1963 (丸
岡).
分布: 奄美大島.
55. *Molorchus (Linomius) takeuchii* Ohbaya-
shi subsp. *ebeninus* Hayashi タケウチヒ
ゲナガコバナカミキリ (奄美亜種)
Hayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13 (2)
: 45, pl. 10, fig. 12
奄美大島—1♂ 1♀ 波津野 6. iv. 1963 (丸
岡).
分布: 奄美大島・沖縄.
56. *Molorchus (Linomius) cobaltinus* Hayashi
ルリヒゲナガコバナカミキリ (新称)
Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 15 (2)
: 53, pl. 7, fig. 4
奄美大島—1♂ 1♀ 波津野 1. iv. 1965 (丸
岡).
- 分布: 奄美大島.
57. *Molorchus (Kobaneus) simplex* Matsu-
shita subsp. *mizoguchii* Hayashi ツヤケ
シヒゲナガコバナカミキリ
Molorchus mizoguchii Hayashi, 1955, Color
Illustr. Ins. Japan, 1, Col. ed. 1: 51,
pl. 19, fig. 204
Molorchus (Kobaneus) simplex Matsushita
subsp. *mizoguchii* Hayashi, 1961, Ent.
Rev. Japan, 13 (2): 45
与那国島—1 ex. v. 1957 (岡部).
分布: 奄美大島・徳之島・石垣島・与那国島;
九州・屋久島.
58. *Kurarua rhopalophoroides* Hayashi クビ
アカモモブトホソカミキリ
Samuelson & Gressitt, 1965, Pacific Ins.,
7 (1): 71
分布: 西表島; 本州 (奈良).
- Pyrestini
59. *Pyrestes inaequalicollis* Hayashi アマミ
クスベニカミキリ (新称)
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (1)
: 9, pl. 2, fig. 3
分布: 奄美大島.
- Callichromini
60. *Chloridolum loochooanum* Gressitt オオ
シマミドリカミキリ
Gressitt, 1934, Pan Pacific Ent., (9):
163
沖縄—1♂ 有銘 17. vi. 1959
分布: 奄美大島・沖縄.
- Compsocerini
61. *Acrocyrtidus elegantulus* Matsushita sub-
sp. *longicornis* Hayashi ヨツオビハレギ
カミキリ (奄美亜種)
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (1)
: 10, pl. 2, fig. 5
分布: 奄美大島.
62. *Eurybatus ferriei* Vuillet フェリエベニホ

シカミキリ

Rosalia (Eurybatus) ferriei Vuillet, 1911, *Insecta*, 1: 79. fig.

分布: 奄美大島.

63. *Eurybatus lesnei* Boppe ベニボシカミキリ
Rosalia lesnei Boppe, 1911. *Bull. Soc. ent. Fr.*, : 103, fig. 1-2
 Gressitt, 1950, *Philip. Jl. Sci.*, 79 (2) : 212
 分布: 石垣島; 台湾.

Callidiini

64. *Semanotus japonicus* Lacordaire スギカミキリ
 Gressitt, 1950, *Philip. Jl. Sci.*, 79 (2) : 212
 分布: 沖縄 (スギ材について輸入?); 本州・四国・九州.
65. *Palaeocallidium rufipenne* (Motschulsky) ヒメスギカミキリ
 Mitono, 1940, *Cat. Col. Jap.*, (8) : 213
 分布: 奄美大島・沖縄; 日本全土・種子島・台湾・朝鮮・樺太.
66. *Phymatodes (Paraphymatodes) albicinctus* Bates シロオビチビヒラタカミキリ
 Plavilstshikov, 1940, *Faune URSS*, 22 : 701
 分布: 琉球 (島名は不明); 日本全土・朝鮮.

Clytini

67. *Xylotrechus chinensis* Chevrolat トラフカミキリ
 Yashiro, 1927, *Okinawa Sugar Exp. Sta. Bull.* 1: 8
 沖縄—1♀ 首里 9. vi. 1958 (仲地), 1♂ 14. v. 1962
 分布: 徳之島・沖縄; 日本全土・台湾・中国・朝鮮.
68. *Xylotrechus grayii* (White) ムネマダラトラカミキリ
 Hayashi, 1963, *Ent. Rev. Japan*, 16 (1) : 10
 分布: 石垣島; 日本全土・台湾・中国.
69. *Xylotrechus brevicillis* Chevrolat イシガ

キトラカミキリ (新称)

- Hayashi, 1963, *Ent. Rev. Japan*, 14 (1) : 10
 分布: 石垣島; 中国 (詳細不明).
70. *Xylotrechus chujoi* Hayashi チュウジョウトラカミキリ
 Hayashi, 1960, *Ent. Rev. Japan*, 11 (1) : 24
 分布: 奄美大島・沖縄.
71. *Xylotrechus atronotatus* Pic subsp. *generosus* Matsushita, n. comb. ムネモンアカネトラカミキリ (八重山亜種)
Xylotrechus generosus Matsushita, 1933, *Jl. Fac. Agr. Hokkaido Univ.*, 34 (2) : 270, pl. 2, fig. 1
 石垣島—2 exs. おもと岳 17. iv. 1963 (野村), 1 ex. 18. vii. 1963 (浜), 7 exs. 27. vi. 1964 (小西), 1 ex. 6. vii. 1964 (小西), 1 ex. 9. vii. 1964 (浜); 6 exs. 平久保 23. 29. vi. 1964 (小西). 西表島—1 ex. 白浜 8. vi. 1963; 2 exs. 波照間森 2. vii. 1964 (小西); 1 ex. 祖納 30. vii. 1964 (伊藤).
 分布: 石垣島・西表島.
- 注: 林 (1960) は *X. generosus* を水戸野 (1941) の所説に従い *X. angulithorax* の Synonym として処理したが, *X. angulithorax* の出版年は1934年であることがその後明かとなった. (Gressitt, 1951参照. *X. angulithorax* の原記録のリプリントには, October, 1933 と記されているが). 一方上述の石垣・西表両島の多くの標本を研究する機会を得て, その顔面の龍骨状突起・前胸側縁の形状などを検すると *generosus* は *angulithorax* との Synonym 或いは亜種的關係を認めるよりかえって, 台湾産の *atronotatus* により近い亜種的關係を認めた方がより正しいかと考えられるので, このように取扱った. Samuelson & Gressitt (1965) の *generosus* を *angulithorax* から区別する Key の相違点はそのまま *generosus* を台湾産の *atronotatus* と関連せしめる特徴となるものである.
72. *Xylotrechus angulithorax* Gressitt アマミトラカミキリ
 Gressitt, 1934, *Pan Pacific Ent.*, 9: 163
 沖縄—7 exs. 与那 2, 3. vi. 1962, 3 exs. 5. 6. v. 1963 (野村). 奄美大島—1 ex. つなぐ 7. vi. 1963 (浜); 4 exs. 波津野 4. vii. 1963 (浜).
 分布: 奄美大島・徳之島・沖縄.

73. *Clytus fukienensis* Gressitt フクケントラ
カミキリ
Gressitt, 1951, Longicornia 2: 254, pl. 10,
fig. 5
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (1)
: 11, pl. 2, fig. 7
分布: 奄美大島; 中国。
九州・台湾・中国・海南島・東南アジア・ピ
ルマ・インド・セイロン。
74. *Amamiclytus hirtipes* (Matsushita) n.
comb. ケズネチビトラカミキリ
= *Amamiclytus nobuoi* Ohbayashi, syn. n.
Ohbayashi, 1964, Bull. Japan Ent. Acad.,
1 (5) : 21, pl. 4, fig. 1
奄美大島—1♂ 波津野 iii. 1965 (加害材採
集) iv. 1965 (東京で羽化) (丸岡).
分布: 奄美大島。
注: 大林 (1964) の記載した *Amamiclytus nobuoi*
の原記載及び付図, 並びに上述の 1♂ 標本を研究し
た結果, 台湾埔里から先に記載されている *Rhaphu-
ma hirtipes* Matsushita (1940) の原記載及び林
の所蔵する台湾埔里産の標本と比較し, *A. nobuoi*
はその synonym と認めるに至った。
但し属の取扱いは大林の *Amamiclytus* が, 松
下の *Rhaphuma* に比較して, 本種を收容するの
にはより適切と思われるので, ここに *R. hirtipes*
を, *Amamiclytus* に移し, かつ *A. nobuoi* は
hirtipes の synonym として取扱った。
75. *Perissus kiusiuensis* Ohbayashi キュウシ
ュウチビトラカミキリ
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (1)
: 11
沖縄—1 ex. 嵩江 11. vi. 1959.
分布: とから列島 (中の島) ・奄美大島・沖
縄; 四国・九州・屋久島。
76. *Perissus ishigakianus* Ohbayashi インガ
キチビトラカミキリ
Ohbayashi, 1964, Bull. Japan Ent. Acad.,
1 (5) : 22, pl. 4, fig. 2
分布: 石垣島。
注: 本種は林が *Xylotrechus brevicillis* Chevrolat
としたものと同一種を取扱ったものと思われる。
77. *Chlorophorus annularis* Fabricius タケト
ラカミキリ
Miwa, 1933, Tr. N. H. Soc. Formosa,
23: 13
分布: 奄美大島・沖縄・西表島; 本州・四国・
九州・台湾・中国・インドネシア。
78. *Chlorophorus muscosus* Bates フタオビミ
ドリトラカミキリ
Gressitt, 1937, Kontyu, 7: 321
沖縄—1 ex. 首里 6. vi. 1960 (仲地); 1 ex.
与那 vi. 1964
分布: 奄美大島・沖縄; 本州・四国・九州・屋
久島・種子島・伊豆諸島・対馬・佐渡。
注: 首里産の標本はさやばねの後方の黒紋を欠いてい
る。
79. *Chlorophorus quinquefaciatus* Castelnau et
Gory ヨスジトラカミキリ
Kano, 1927, Tr. N. H. Soc. Formosa, 16:
128
沖縄—1 ex. 首里 19. vi. 1958 (仲地); 1 ex.
石川 23. viii. 1960; 2 exs. 名護 11. vi. 19
62. 石垣島—6 exs. 石垣市 19, 30. v. 1962,
1 ex. v. 1962 (ハスノハギリ伐採木の材の割
れに産卵), 2 exs. 30. v. 1962 (ソウシジュ
伐採枝に産卵行動), 11 exs. 15. vi. 1963;
1 ex. おもと岳 2~4. viii. 1962 (浜・野村).
西表島—1 ex. 仲間川上流 27. v. 1962 (ク
サギの枯枝の割れに産卵); 11 exs. 古見 28.
vii. 1962 (浜・野村); 4 exs. 白浜 8, 9. vi.
1963; 1 ex. てどー山 22. vii. 1963 (浜).
分布: とから列島 (中の島) ・奄美大島・沖縄
・宮古島・石垣島・西表島; 本州・四国・九
州・朝鮮。
80. *Chlorophorus singnaticollis* Castelnau et
Gory ウスグロトラカミキリ
Miwa, 1933, Tr. N. H. Soc. Formosa, 23:
13
分布: 奄美大島・沖縄・石垣島・西表島; 台
湾・中国・インドネシア。
81. *Chlorophorus yayeyamensis* Kano ヤエヤ
マトラカミキリ
Kano, 1933, Kontyu, 7 (3) : 137
石垣島—1 ex. 1. ii. 1953 (紫木); 5 exs. 石
垣市 20. v. 1963 (掘り採ってあったシマグ
ワの根から羽化). 沖縄—1 ex. 首里 29. v.
1958 (仲地), 4 exs. 1, 6, 8. vi. 1960, 3 exs.
22. v. 1961, 5 exs. 15, 16. v. 1. vi. 1962;

- 1 ex. 那覇 16. v. 1960, 10 exs. v. 1963 (丸太より羽化) (仲宗根); 1 ex. 許田 26. ix. 1960; 1 ex. 嘉手納 26. ix. 1960; 2 ex. 与那 3. vi. 1962, 3 exs. 9. vi. 1964; 5 exs. 石川 6. vii. 1962; 2 exs. 名護 11. vi. 1962. 西表島—1 ex. 白浜 9. vi. 1963. 分布: 奄美大島・沖縄・南大東島・宮古島・石垣島・波照間島・西表島; 屋久島・種子島・台湾・小笠原.
- 注: 幼虫の形態は比和科学博物館研究報告(8), 1965に報告した。
82. *Chlorophorus aritai* Ohbayashi イリオモテトラカミキリ
Ohbayashi, 1964, Bull. Japan Ent. Acad., 1(5): 22, pl. 4, fig. 3, pl. 5, fig. 8, 9
沖縄—1♀ 首里 18. v. 1962.
分布: 沖縄(新記録)・西表島.
83. *Chlorophorus* sp. トラカミキリの1種
奄美大島—1♂ 波津野 13. vi. 1963(野村).
分布: 奄美大島.
84. *Rhaphuma diminuta* Bates subsp. *diminuta* Bates ヒメクロトラカミキリ
Samuelson & Gressitt, 1965, Pacific Ins. 7(1): 79
分布: 沖縄; 本州・四国・九州・対馬・屋久島・アムール.
85. *Rhaphuma diminuta* Bates subsp. *nitens* Hayashi ツヤヒメクロトラカミキリ(新称)
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14(1): 12, pl. 2, fig. 9
分布: 奄美大島.
86. *Rhaphuma virens* Matsushita カギモンミドリトラカミキリ
Mitono, 1940, Col. Cat. Jap., (8): 124
分布: 奄美大島; 台湾.
87. *Demonax ohbayashii* Samuelson オオバヤシトゲヒゲトラカミキリ(新称)
Samuelson, 1965, Pacific Ins., 7(1): 79, fig. 4
分布: 石垣島.
88. *Demonax semixeniscus* Hayashi アマミトゲヒゲトラカミキリ(新称)
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14(1): 12, pl. 3, fig. 10
分布: 奄美大島.
89. *Demonax masatakai* Ohbayashi サキシマトゲヒゲトラカミキリ
Ohbayashi, 1964, Bull. Japan Ent. Acad., 1(5): 23, pl. 4, fig. 4, pl. 5, fig. 12
分布: 石垣島・西表島.
90. *Anaglyptus arakawae* Kano アラカワシロヘリトラカミキリ
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14(1): 13
奄美大島—1 ex. 波津野 6. iv. 1965(丸岡).
分布: 奄美大島; 四国・屋久島.

Stenaspini

91. *Euryphagus pictus* Voet
沖縄—1♂ 首里 26. vii. 1960(仲地).
分布: 沖縄; フィリピン・ボルネオ・ジャバ・モルッカス.
注: 本種は輸入種であろうと思われる。

Cleomenini

92. *Mimistena setigera* Schwarzer subsp. *japonica* Pic ケナガカミキリ
Samuelson & Gressitt, 1965, Pacific Ins., 7(1): 81
分布: 奄美大島; 九州・屋久島.

V. Lamiinae クワカミキリ亜科

Mesosini

93. *Mesosa (Mesosa) konoi* Hayashi subsp. *konoi* Hayashi ナカシロゴマフカミキリ
Hayashi, 1956, Bull. Osaka Mus. N. H., 9: 13, pl. 4, fig. 1
分布: とから列島(中の島・口の島).
94. *Mesosa (Mesosa) konoi* Hayashi subsp. *amamiana* Hayashi アマミゴマフカミキリ
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14(1): 13, pl. 3, fig. 11
分布: 奄美大島.

95. *Mesosa (Mesosa) konoï* Hayashi subsp. *okinoerabuensis* Ohbayashi オキノエラブゴマフカミキリ
Ohbayashi, 1959, Ent. Rev. Japan, 10 (1) : 3
分布：沖永良部島。
96. *Mesosa (Mesosa) konoï* Hayashi subsp. *okinawana* Hayashi イハゴマフカミキリ
Mesosa perplexa Pascoe subsp. *okinawana* Hayashi, 1960, Ent. Rev. Japan, 11 (1) : 27
粟国島—1 ex. 1. vii. 1960. 沖縄—1♂ 名護 4. vi. 1962
分布：沖縄。
97. *Mesosa (Mesosa) perplexa* Pascoe チャゴマフカミキリ
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 15 (1) : 32
波照間島—2♀ 31. vii~2. viii. 1959 (岡部). 沖縄—1♂ 伊豆味 18. viii. 1960 (岡部).
分布：沖縄・石垣島・波照間島；本州 (神戸付近)；九州 (長崎付近)・台湾・東中国。
98. *Mesosa (Mesosa) cervinopicta* (Fairmaire) subsp. *cervinopicta* (Fairmaire) イシガキゴマフカミキリ
Pachyosa cervinopicta Fairmaire, 1897, Bull. Soc. ent. Fr., : 71
Mesosa subkonoï Breuning, 1954, Ent. Arb. Mus. Frey, 15 : 91
石垣島—2♀ おもと岳 3. viii. 1959 (岡部)；2♂ 5♀ 石垣市 29. iv. 1960, 5♂ 13♀ 28. 30. viii. 1961 (イヌビワ, オオバギの伐採枝上より) (岡部), 2♂ 18. v. 1962 (シマグワの枯枝の樹皮を後食), 4♀ 19. v. 1962 (カントンアブラギリの伐採枝に産卵行動), 3♀ 22, 29. v. 1962 (シマグワ伐採枝, 枯枝の樹皮にかみ傷を付け, その中に産卵), 5♀ 30. v. 1962 (ハスノハギリ, シウンジュ, アカメガシワの伐採枝に産卵行動), 14♂ 28♀ 18~22, 29, 30. v. 1962 (シマグワ, カントンアブラギリなどの枯木, 伐採枝上より), 1♀ 20. v. 1963 (シマグワの掘り採ってあった根から羽化), 1♀ 15. vi. 1963. 西表島—1♂ 大原 2. x. 1963；8♀ 白浜 4~9. x. 1963.
分布：沖縄？・宮古島・石垣島・西表島・波照間島。
注：幼虫の形態は比和科学博物館研究報告 (8), 1965 に報告した。
99. *Mesosa (Mesosa) cervinopicta* (Fairmaire) subsp. *yonaguni* Hayashi ヨナゲニゴマフカミキリ
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 15 (1) : 5, pl. 1, fig. 5
分布：与那国島。
100. *Mesosa (Perimesosa) pictipes* Gressitt subsp. *pictipes* Gressitt オキナワゴマフカミキリ
Gressitt, 1937, Kontyu, 11 : 323, fig. 4
沖縄—2♀ 本部 18. viii. 1959 (岡部).
分布：沖縄。
101. *Mesosa (Perimesosa) pictipes* Gressitt subsp. *yayeyamai* Breuning ヤエヤマゴマフカミキリ
Breuning, 1955, Bull. Soc. ent. Fr., 60 : 61
分布：石垣島。
102. *Mesosa (Perimesosa) pictipes* Gressitt subsp. *miyamotoi* Hayashi タカラゴマフカミキリ
Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus. N. H., 9 : 20, pl. 4, fig. 3.
分布：とから列島 (室島)・奄美大島；屋久島。
103. *Mesoereis koshunensis* Matsushita ヒロオビオオゴマフカミキリ
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 15 (1) : 27, pl. 4, fig. 1
石垣島—1♀ 29. vii. 1964 (伊藤).
分布：石垣島 (新記録)・西表島；台湾。

Homonoieini

104. *Micromulciber quadrisignatus* Schwarzer ヨツスジカミキリ (シラホシニセヤハズカミキリ)

- Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 15 (1)
: 5. pl. 1, fig. 6
西表島—1♂ 白浜 5. x. 1963.
分布: 西表島(新記録)・与那国島; 台湾.
105. *Bumetopia oshimana* Breuning オオシマ
ウスアヤカミキリ(改称)
Breuning, 1938, Festsch. Prof. Dr. E.
Strand, 5: 162
分布: とから列島(宝島)・奄美大島・徳之島.
106. *Bumetopia okinawana* Hayashi オキナ
ワウスアヤカミキリ(新称)
Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1)
: 12, pl. 2, fig. 5
分布: 沖縄.
107. *Bumetopia oscitans* Pascoe subsp. *pla-*
giata Schwarzer ウスアヤカミキリ
Matsushita, 1933, Jl. Fac. Agr. Hokkaido
Univ., 34 (2): 335
分布: 石垣島・西表島; 台湾.
注: 林の手元で宮古島・与那国島などの *Bumetopia*
属の標本が研究されているが, 現在のところその学
名は決定出来ない。*B. oscitans plagiata* の八重
山諸島からの記録は目下のところ疑問である。
- Apomecynini
108. *Apomecyna historio* (Fabricius) ヨスジ
シラホシサビカミキリ
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (1):
13
西表島—6 exs. 大原 2. iv. 1951(浜); 1
ex. 18~28. vii. 1962(野村); 2 exs. 白浜
4, 12. x. 1963. 石垣島—4 exs. 石垣市 20,
23. v. 1962, 2 exs. 13. vii, 4. viii. 1962(丸
岡), 1 ex. 14. x. 1963; 1 ex. おもと岳 2.
viii. 1962(浜). 与那国島—2 exs. 7~12. vii.
1962(丸岡), 1 ex. 18. vii. 1962(浜), 1
ex. 15. viii. 1963(野村); 2 exs. 祖納 21.
vii. 1962. 宮古島—32 exs. 10. iv, 2. v.
1963(野村).
分布: 奄美大島・沖縄・宮古島・石垣島・西表
島・波照間島・与那国島; 台湾・朝鮮・中国
・ヒリッピン・インドネシア・海南島・イン
ド.
109. *Apomecyna tsutsui* Hayashi トカラシラ
ホシサビカミキリ
Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus.
N. H., 9: 15, pl. 5, fig. 11
分布: とから列島(中の島).
110. *Asaperda bicostata* Hayashi キンケチャ
イロカミキリ
Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus.
N. H., 9: 16, pl. 4, fig. 9
分布: とから列島(中の島)・屋久島.
111. *Asaperda meridiana* Matsushita タイワ
ンクロフカミキリ
Umebayashi, 1960, Kita-Kyūshū no
Konchū, 7 (3): 73
分布: 沖永良部島; 台湾.
112. *Neosybra sinuicosta* Gressitt タカサゴア
ヤモンチビカミキリ(新称)
Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1)
: 12
西表島—6 exs. 19~21. vii. 1962(丸岡).
石垣島—1 ex. おもと岳 2. viii. 1962(浜).
分布: 石垣島・西表島; 台湾.
注: Breuning & Ohbayashi (1964b) は石垣島・西
表島から *Neosybra cribrella* Bates subsp.
ryukyuensis を新しく記載したが, これは恐らく上
記学名の下に報告したものと同一種を指すものと思
われる。
113. *Sybra baculina* Bates アトモンチビカミ
キリ
Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8): 181
沖縄—3 exs. 首里 20, 21. 1961(岡部), 8
exs. 15, 16. v. 1962; 2 exs. 与那 2. vi.
1962; 1 ex. 名護 4. vi. 1962. 石垣島—14
exs. 28, 30. viii. 1961(岡部); 62 exs. 石
垣市 19~23, 30. v. 1962. 西表島—9 exs.
大富・大原 26, 28. v. 1962; 3 exs. 大原
2. x. 1963; 7 exs. 白浜 4~12. x. 1963.
分布: 奄美大島・沖縄・石垣島・西表島・波照
間島; 台湾・紅頭島.
114. *Sybra loochooana* Greuning オキナワチ
ビカミキリ
Breuning, 1938, Festsch. Prof. Dr. E.

- Strand, 5 : 263
 沖縄—1 ex. 首里 21. viii. 1961 (オオバギの枯木より) (岡部), 3 exs. 15. 17. v. 1962; 1 ex. 名護 23. viii. 1961 (岡部), 1 ex. 4. vi. 1962; 2 exs. 与那 3. vi. 1962. 石垣島—? 6 exs. 28, 30. viii. 1961 (岡部); ? 59 exs. 石垣市 19~22, 30. v. 1962.
 分布: 沖縄・石垣島?.
115. *Sybra oshimana* Breuning オオシマチビカミキリ
 Breuning, 1958, Bull. Soc. ent. Fr., 63 : 34
 分布: 奄美大島.
 注: 本種は恐らく113の Synonym と思われる。
116. ?*Sybra subtesselata* Breuning マダラチビカミキリ (新称)
 Breuning, 1960, Bull. Inst. roy. Sci. nat. Belg. 36 (7) : 14 (Ôshima)
 沖縄—1 ex. 首里 28. viii. 1961, 18 exs. 15~17. v. 1962; 15 exs. 与那 2, 3. vi. 1962; 1 ex. 名護 4. vi. 1962. 石垣島—9 exs. 30. viii. 1961 (岡部); 18 exs. 石垣市 20~23, 30. v. 1962; 10 exs. ばんな岳 24, 25. vii. 1962 (浜・野村); 16 exs. おもと岳 2, 4. viii. 1962 (浜・野村), 8 exs. 17, 19, 29. iv. 1963 (野村), 2 exs. 14. x. 1963. 西表島—15 exs. 大富・大原 26, 28. v. 1962; 1 ex. 大富 27. vii. 1962 (浜・野村), 10 exs. 26. iv. 1963 (野村); 4 exs. 白浜 21. iv. 1963 (野村), 6 exs. 4~12. x. 1963; 7 exs. 大原 27. iv. 1963 (野村).
 分布: 奄美大島・沖縄・石垣島・西表島・波照間島?.
- 注: 本種は Ôshima から記載されたものであるが, 奄美大島産の多数の *Sybra* を検討したところ, 原記載に符合するものが見当らず, 今後 114, 118, 119 などとともに再検討を必要としている。
117. *Sybra pascoei* Lameere subsp. *taiwanella* Gressitt タカサゴチビカミキリ (新称)
 Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1) : 13
 与那国島—1 ex. 30. ix. 1954 (岡部). 宮古島—1 ex. 平良 15. vii. 1962 (野村); 2 exs. 2. v. 1963 (野村). 沖縄—3 exs. 首里 20, 21. viii. 1961 (岡部), 1 ex. 16. xi. 1961 (燈火に飛来), 2 exs. 15. v. 1962; 1 ex. 12. viii. 1962 (丸岡); 1 ex. 伊豆味 10. vii. 1963 (浜). 石垣島—4 exs. 28, 30. viii. 1961 (岡部); 8 exs. 石垣市 20~22, 30. v. 1962; 3 exs. ばんな岳 24. vii. 1962 (野村); 2 exs. おもと岳 2. viii. 1962 (野村), 1 ex. 29. vii. 1963 (浜); 11 exs. 13. vii~4. viii. 1962 (丸岡). 西表島—3 exs. 大富・大原 26, 30. v. 1962; 7 exs. 18~28. vii. 1962 (丸岡); 22 exs. 大富 24~29. vii. 1962 (浜・野村); 6 exs. 26. iv. 1963 (野村); 2 exs. 白浜 21. iv. 1963 (野村), 2 exs. 20. vii. 1963 (浜), 3 exs. 6, 12. x. 1963; 1 ex. 浦内 23. vii. 1963 (浜); 4 exs. 大原 2. x. 1963.
 分布: 沖縄・宮古島・石垣島・西表島・与那国島; 台湾.
118. *Sybra mimogeminata* Breuning et Ohbayashi アリタチビカミキリ
 Breuning & Ohbayashi, 1964, Bull. Japan Ent. Acad., 1 (4) : 17
 分布: 石垣島.
119. *Sybra* (*Sybra*) *ishigakii* Breuning et Ohbayashi イシガキチビカミキリ
 Breuning & Ohbayashi, 1964b, Bull. Japan Ent. Acad., 1 (6) : 28
 分布: 石垣島・西表島.
 注: *Sybra* 属の種は記載だけでは十分正確な判断を下し得ないので, 既に本目録中に他の学名の下に登載しているものに当るものかも知れないが, 一応別に加えておく。
120. *Iproca acuminata* Gressitt* トガリヤハズサビカミキリ (新称)
 Gressitt, 1940, Philip. Jl. Sci. 72 : 165, pl. 5, fig. 8; pl. 7, fig. 6
 石垣島—1 ex. 平久保 23. vi. 1964 (小西).
 分布: 石垣島 (新記録); 海南島.
 注: タイプ以外初めての記録である。
121. *Ropica honesta* Pascoe フタホシサビカミキリ
 Pascoe, 1865, Tr. Ent. Soc. Lond., (3) 3 : 196

- Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (1) : 14, pl. 3, fig. 12
 分布：奄美大島・沖縄・石垣島・西表島・波照間島；台湾・南中国・海南島・インドネシヤ。
122. *Ropica formosana* Bates ウスフタモンサビカミキリ
 Bates, 1866, Proc. Zool. Soc. London, : 351
 Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus. N. H., 9 : 16, pl. 5, fig. 7
 ? *Ropica nobuoi* Breuning et Ohbayashi, 1964, Bull. Japan Ent. Acad, 1 (4) : 17
 分布：とから列島(中の島)・奄美大島・徳之島；屋久島・対馬・台湾。
123. *Ropica coenosa* (Matsushita), n. comb. フタモンサビカミキリ
Pterolophia coenosa Matsushita, 1933, Ins. Matsum., 7 : 107, fig. 5
 沖縄—1 ex. 与儀 2. vii. 1960 ; 2 exs. 首里 14, 17. iv. 1961 (ソウシジュ枯木より), 9 exs. 20, 21. viii. 1961 (岡部), 1 ex. 13. v. 1962 (燈火に飛来), 12 exs. 15~17. v. 1962, 1 ex. 5. vi. 1963 ; 1 ex. 明治山 3. vii. 1961 ; 4 exs. 名護 23. viii. 1961 (岡部), 5 exs. 4. vi. 1962 ; 6 exs. 与那 2, 3. vi. 1962. 石垣島—37 exs. 石垣市 19~23. v. 1962, 1 ex. 14. x. 1963. 西表島—24 exs. 大富・大原 25, 26. v. 1963 ; 3 exs. 白浜 5~11. x. 1963.
 分布：沖縄・石垣島・西表島・波照間島；台湾。
 注：林は北大所蔵の本種のタイプを研究し、中脛節外縁に切込みをもつことなどから *Pterolophia* でなく、*Ropica* に属することを知った。
 幼虫の形態は比和科学博物館研究報告(8), 1965 に報告した。
124. *Ropica lochooana* (Matsushita), n. comb. ゴマフサビカミキリ
Pterolophia lochooana Matsushita, 1933, Jl. Fac. Agr. Hokkido Univ., 34 (2) : 361
 沖縄—1 ex. 明治山 27. i. 1955, 1 ex. 5. vi. 1961, 1 ex. 3. vii. 1961 ; 1 ex. 金武 26. vii. 1959 (岡部) ; 1 ex. 与儀 2. vii. 1960 ; 3 exs. 首里 14. iv. 1961, 9 exs. 20, 21. viii. 1961 (岡部), 1 ex. 28. viii. 1961, 1 ex. ix. 1961, 4 exs. 15, 16. v. 1962, 1 ex. 31. v. 1962 ; 1 ex. 佐敷 16. vii. 1961 ; 6 exs. 名護 23. viii. 1961 (岡部), 4 exs. 4. vi. 1962 ; 5 exs. 与那 3. vi. 1962. 石垣島—45 exs. 28, 30. viii. 1961 (岡部) ; 104 exs. 石垣市 19~23, 30. v. 1962. 西表島—37 exs. 大富・大原 25~28. v. 1962 ; 2 exs. 大原, 2. x. 1963 ; 8 exs. 白浜 4~12. x. 1963.
 分布：沖縄・石垣島・西表島。
 注：前種同様、林は北大所蔵の本種のタイプを検し、同じく *Pterolophia* のものでなく *Ropica* に属するものであることを確認した。
 Samuelson (1965 : 108) は本種に *Pterolophia subleiopodina* Breuning et Ohbayashi (1964) をあてているがこれは本種が *Ropica* である以上明に誤りである。
125. *Ropica hayashii* Breuning ハヤシサビカミキリ (新称)
 Breuning 1958, Bull. Soc. ent. Fr., 63 : 34
 分布：石垣島・西表島。

Hippopsini

126. *Pothyne albolineata* Matsushita タテジマドウボンカミキリ
Pothyne silacea Miwa (nec Pascoe), 1933, Tr. N. H. Soc. Formosa, 23 : 13
Pothyne formosana Gressitt (nec Schwarzer), 1950, Philip. Jl. Sci., 79 (2) : 石垣島—5 exs. 石垣市 20, 21, 30. 1962. 西表島—5 exs. 大富・大原 26. v. 1962.
 分布：宮古島・石垣島・西表島；台湾。
127. *Pothyne formosana* Schwarzer マッコウドウボンカミキリ
 Samuelson, 1965, Pacific Ins., 7 (1) : 123, 124
 分布：西表島；台湾。
 注：*Pothyne formosana* : Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8) : 188 (Miyako) は *P. albolineata* の誤同定らしい。
128. *Pothyne hayashii* Breuning アラキドウボンカミキリ

- Breuning, 1953, Bull. Inst. roy. Sci. nat. Belg, 29 (8) : 19
 ? *Pothyne nobuoi* Breuning et Ohbayashi, 1964, Bull. Japan Ent. Acad., 1 (4) : 17
 分布: 奄美大島・沖永良部島・沖縄.
129. *Pothyne liturata* Matsushita オキナワド
 ウボンカミキリ
 Matsushita, 1933, Jl. Fac. Agr. Hokkaido Univ., 34 (2) : 384
 沖縄—1 ex. 首里 17. v. 1962. 石垣島—3
 exs. 石垣市 20. v. 1962.
 分布: 奄美大島・喜界カ島・沖縄・石垣島・西
 表島.
130. *Pothyne silacea* Pascoe シロスジドウボ
 ソカミキリ
 Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus. N. H., 9 : 18
 分布: とから列島 (中の島); 本州・四国・九
 州・中国・海南島.
131. *Pothyne variegata* Thomson カスリドウ
 ボソカミキリ
 Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8) : 189
 石垣島—5 exs. 石垣市 20, 22, 30. v. 1962
 (ウメの枯枝を後食).
 分布: 奄美大島・沖永良部島・石垣島; 台湾・
 東南アジア・インド.
132. *Hyllisia oshimana* Breuning アマミドウ
 ボソカミキリ
 Breuning, 1955, Bull. Soc. ent. Fr., 60 :
 73
 分布: 奄美大島.
133. *Pseudocalamobius leptissimus* Gressitt
 subsp. *okinawanus* Samuelson コウザン
 ドウボンカミキリ (沖縄亜種)
 Samuelson, 1965, Pacific Ins., 7 (1) :
 125, fig. 5
 分布: 沖縄.
- Pteropliini (Niphonini)
134. *Abryna coenosa* Newman サビアヤカミ
 キリ
Abryna coenosa Newman subsp. *loochooana*
 Matsushita, 1933. Ins. Matsum., 7 (3)
 : 108
 沖縄—1 ex. 伊豆味 18. viii. 1960 (岡部),
 2 exs. 首里 10, 20. v. 1961 (タイミンチク
 の幹中より), 1 ex. 20. viii. 1961 (岡部);
 1 ex. 明治山 31. v. 1961 (マチクの幹中よ
 り), 4 exs. 3. vii. 1961; 2 exs. 石川 28.
 v. 1961 (ダイサンチクの幹中より), 1 ex. 名
 護 24. viii. 1961 (ダイサンチクの幹中よ
 り); 1 ex. 与那 2. vi. 1962. 石垣島—5
 exs. 石垣市 20. v. 1962 (マチク・リョクチ
 ク・ホウライチクの幹にかみ傷をつけてその中
 に産卵, 幹中より幼虫・成虫).
 分布: とから列島 (宝島・口の島)・奄美大
 島・沖永良部島・与論島・沖縄・石垣島・与
 那国島・西表島; 屋久島・種子島・台湾・紅
 頭島・中国・フィリピン.
 注: 産卵習性と幼虫・さなぎの形態は応動昆 8 (1)
 1964 に報告した.
135. *Abryna coenosa* Newman subsp. *oshimen
 sis* Breuning サビアヤカミキリ (奄美大島
 亜種)
Palimna obscura Newman subsp. *oshimensis*
 Breuning, 1955, Bull. Soc. ent. Fr., 60 :
 64
 分布: 奄美大島.
136. *Niphona furcata* Bates ハイロヤハズ
 カミキリ
 Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8) : 170
 沖縄—10 exs. 首里 4, 10, 13, 20. v, 5, 6.
 vi. 1961 (垣根に使用しているリュウキュウチ
 クの幹より脱出中のもの).
 分布: 奄美大島・沖縄; 本州・四国・九州・台
 湾・中国.
137. *Niphona yanoi* Matsushita ヤノヤハズカ
 ミキリ
Niphona furcata Miwa (nec Bates), 1933,
 Tr. N. H. Soc. Formosa, 23 : 12
 沖縄—1♂ 1♀ 明治山 5. vi. 1962 (スタ
 ジイの枯枝上より). 石垣島—1 ex. おもと岳
 14. x. 1963.
 分布: 沖縄・石垣島・西表島・与那国島; 台

湾。

138. *Pterolophia annulata* Chevrolat ワモン
サビカミキリ
Miwa, 1933, Tr. N. H. Soc. Formosa, 23: 13
Pterolophia lunigera Aurivillius subsp. *formosa* Hayashi (nec Schwarzer), 1960, Ent. Rev. Japan, 11 (1): 28
沖縄—1 ex. こぎ v. 1961; 4 exs. 首里 20, 21. viii. 1961 (オオバキの枯枝上より) (岡部), 3 exs. 4, 17, 31. v. 1962. 石垣島—2 exs. 30. viii. 1961 (オオバイヌビワの枯枝上より) (岡部), 15 exs. 石垣市 20, 22. v. 1962, 1 ex. 20. v. 1963 (堀り採ってあったシマグワの根から羽化); 1♀ ばんな岳 24. vii. 1962 (野村).
分布: とから列島(中の島・宝島)・奄美大島・沖縄・南大東島・宮古島・石垣島・西表島・波照間島; 本州・四国・九州・対馬・伊豆大島・三宅島・屋久島・種子島・台湾・中国.
139. *Pterolophia bigibbera* Newman スジダ
カサビカミキリ
Mesosa? *bigibbera* Newman, 1842, Ent., 1: 323
Pterolophia camura: Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus. N. H., 9: 15, pl. 5, fig. 4
沖縄—1 ex. 本部 18. viii. 1959 (岡部); 3 exs. 与那 2. vi. 1962, 1 ex. 5. v. 1963 (野村); 1 ex. 明治山 5. vi. 1962.
分布: とから列島(中の島)・沖縄; 台湾・紅頭島・フィリピン・ミクロネシア.
140. *Pterolophia gibbosipennis* Pic コブバネ
ザビカミキリ
Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus. N. H., 9: 15
? *Pterolophia (Ale) subcristipennis* Breuning et Ohbayashi, 1964, Bull. Japan Ent. Acad., 1 (4): 16
西表島—1♂ 2♀ 19~21. vii. 1962(丸岡); 3 exs. 白浜 4, 5. x. 1963. 石垣島—1♂ 2♀ おもと岳 2. viii. 1962 (浜・野村); 1 ex. 真栄里山 2. viii. 1962 (丸岡). 沖縄—
- 24 exs. 与那覇岳 9. viii. 1962 (丸岡); 1 exs. 明治山 20. x. 1963.
分布: とから列島・奄美大島・沖縄・石垣島・西表島; 台湾.
141. *Pterolophia latefascia* Schwarzer ヨコス
ジサビカミキリ
Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1): 13, pl. 2, fig. 7
石垣島—6 exs. 石垣市 20, 23, 30. v. 1962.
西表島—1 ex. 白浜 11. x. 1963.
分布: 石垣島・西表島; 台湾.
142. *Pterolophia obscura* Schwarzer スジサビ
カミキリ
Miwa, 1933, Tr. N. H. Soc. Formosa, 23: 12
分布: 西表島; 台湾.
143. *Pterolophia oshimana* Breuning オオシ
マサビカミキリ
Breuning, 1955, Bull. Soc. ent. Fr., 60: 64
分布: 奄美大島.
144. *Pterolophia subleiopodina* Breuning et
Ohbayashi イシガキシロオビサビカミキリ
Breuning & Ohbayashi, 1964, Bull. Japan Ent. Acad., 1 (4): 16
石垣島—3 exs. 石垣市 30. v. 1962; 1 ex. ばんな岳 24. vii. 1962 (野村); 7 exs. おもと岳 2. viii. 1962 (野村・浜), 7 exs. 17, 19, 29. iv. 1963 (野村); 13 exs. 真栄里山 2. viii. 1962 (丸岡). 与那国島—1 ex. 15. iv. 1963 (野村). 西表島—1 ex. 白浜. 21. iv. 1963 (野村), 2 exs. 4. x. 1963.
分布: 石垣島・西表島・与那国島.
145. *Egesina (Niijimaia) shibatai* Hayashi
シバタアラゲサビカミキリ (新称)
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (1): 15, pl. 3, fig. 15
分布: 奄美大島.
146. *Egesina (Niijimaia) formosana* (Schwarzer) subsp. *picea* Hayashi ツヤアラゲ
サビカミキリ (新称)
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (1): 16, pl. 3, fig. 16

分布：奄美大島。

Agnini

147. *Psacotha hilaris* (Pascoe) キボシカミキリ

Sakaguchi, 1927, Prov. List. Ins. Okinawa: Miwa, 1933, Tr. N. H. Soc. Formosa, 23: 12

石垣島—1♀ 31. xii. 1952 (素木), 1♂ 29. i. 1953 (素木), 1♂ 6. ii. 1953 (素木); 2♂ 2♀ 石垣市 30. iv. 1960, 1♂ 30. viii. 1961 (岡部), 18 exs. 18, 22, 23. v. 1962, 2♀ 30. v. 1962 (掘り出してあったシマグワの根にかみ傷をつけて, その中に産卵), 1♂ 4♀ 14, 15. vii, 1962 (丸岡); 11♀ 星野, 2. viii. 1962 (丸岡); 2♂ ぼんな岳 25. vii. 1962 (野村). 与那国島—4 exs. 10~12. viii. 1959 (岡部); 36 exs. 祖納 8~10. vii. 1962 (丸岡), 2♂ 1♀ 19. vii. 1962 (野村・浜). 西表島—1♂ 大原 29. v. 1962; 2♂ 大富 26. vii. 1962 (野村・浜), 1♀ 18. vii. 1962 (ながよし); 1♀ 星立. 26. vii. 1962 (丸岡); 1♂ てどー山 21. iv. 1963 (野村); 1♂ 白浜 21. iv. 1963.

分布：宮古島・石垣島・西表島・与那国島；本州・九州・対馬・朝鮮・台湾・中国。

注：成虫の後食については比和科学博物館研究報告(6), 1963に報告した。

148. *Psacotha hilaris* (Pascoe) subsp. *macronotata* Hayashi トカラキボシカミキリ

Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus. N. H., 9: 20, pl. 9, fig. 5, 8, b

分布：とから列島(口の島, 宝島); 九州(薩摩半島南西端)。

149. *Psacotha teneburosa* Matsushita オオキボシカミキリ

Matsushita, 1933, Jl. Fac. Agr. Hokkaido Univ., 34 (2): 322, pl. 5, fig. 2

沖繩—1♂ 1♀ 首里 5. vi, 10. vii. 1958 (仲地), 1♀ 6. vi. 1960, 1♂ 13. vi. 1960, 2♂ 2♀ 8. viii. 1961, 5♂ 1♀ 20, 21. viii. 1961 (岡部), 6♂ 6♀ 15, 17. v. 1962 (シマグワの生木の樹皮を後食); 1 ex.

伊豆味 18. viii. 1960 (シマグワの樹上より); 1♂ 1♀ 新里 11. vi. 1961; 2♂ 安田 14. vi. 1961, 1 ex. 石川 6. vi. 1962 (ガジュマルの生葉を後食); 1 ex. 国頭 16. xii. 1963.

分布：沖永良部島?・沖繩・久米島・宮古島。

注：Samuelson (1965) は沖永良部島の標本について subsp. *maculata* Breuning より原亜種に属するものと認め, その分布に沖永良部島を加えたが, 林の検した限りでは沖永良部島のものは次亜種と考えられる。

成虫の後食については比和科学博物館研究報告(6), 1963に報告した。

150. *Psacotha teneburosa* Matsushita subsp. *maculata* Breuning オオキボシカミキリ (奄美亜種)

Breuning, 1954, Bull. Soc. ent. Fr., 59: 69

分布：奄美大島・徳之島・沖永良部島・与論島。

151. *Anoplophora glabripennis* (Matsushita) ツヤハダコマダラカミキリ

Gressitt, 1950, Philip. Jl. Sci., 79 (2): 218

分布：石垣島; 台湾・本州?・朝鮮・中国。

152. *Anoplophora malasiaca* Thomson ゴマダラカミキリ

Melanauster chinensis Förster var. *macularius* Thomson: Miwa, 1935, Mushi, 8: 38

分布：奄美大島?・沖繩?・与那国島; 日本全土・隠岐・屋久島・種子島・対馬・伊豆諸島・台湾・朝鮮・中国。

153. *Anoplophora oshimana* (Fairmaire) オオシマゴマダラカミキリ

Melanauster oshimana Fairmaire, 1895, Bull. Soc. ent. Fr., : 390

沖繩—41 exs. 石川 6. vi. 1962 (クスノハカエデの生葉を後食, 生木の幹にかみ傷をつけて, その中へ産卵), 1♀ 10. vi. 1962 (スダジイの生木に産卵行動, 同樹に幼虫の加害部分あり)。

分布：奄美大島・沖繩。

注：成虫の後食と幼虫の形態については, それぞれ比和科学博物館研究報告(6), 1963; (8), 1965に報告した。

154. *Anoplophora oshimana* (Fairmaire) subsp. *ryukyuensis* Breuning et Ohbayashi
オオシマゴマダラカミキリ (与那国亜種)
Breuning & Ohbayashi, 1964, Bull. Japan Ent. Acad., 1 (4) : 15
Melanauster chinensis Miwa (nec Förster), 1935, Mushi, 8 : 38
与那国島—1♀ 12. viii. 1959 (岡部).
分布 : 与那国島.
155. *Anoplophora oshimana* (Fairmaire) subsp. *tokunoshimana* Samuelson オオシマゴマダラカミキリ (徳之島亜種)
Samuelson, 1965, Pacific Ins., 7 (1) : 89, fig. 1
分布 : 徳之島.
注 : タイプを検したが特に原種と亜種的に区別出来ないものと思われる。
156. *Cereopsius ziczac* (Matsushita) シロオビピロウドカミキリ
Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1) : 11
分布 : 石垣島 ; 台湾.
157. *Blepephaeus decoloratus* (Schwarzer) アセイロフトカミキリ
Cereopsius decoloratus Schwarzer, 1925, Ent. Blätt. 21 : 59 ; Miwa, 1935, Mushi, 8 : 38
与那国島—1♂ 3♀ 祖内・宇良部 20. vii. 1962 (浜・野村) ; 1♂ 2♀ 祖内 8. vii. 1962 (丸岡).
分布 : 与那国島 ; 台湾.
注 : Breuning & Ohbayashi (1964b) は与那国島の個体は、台湾産の上記原種と相違する亜種と認め subsp. *yonagunii* を新しく記載した。
158. *Blepephaeus okinawanus* Hayashi オキナワフトカミキリ (新称)
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 15 (1) : 6, pl. 1, fig. 7
Blepephaeus decoloratus Hayashi (nec Schwarzer), 1960, Ent. Rev. Japan, 11 (1) : 26
沖縄—1♀ 明治山 20. x. 1963.
分布 : 沖縄.
159. *Blepephaeus yayeyamai* Breuning ヤエヤマフトカミキリ
Breuning, 1955, Bull. Soc. ent. Fr., 60 : 60
波照間島—1♂ 31. viii~2. viii. 1959 (岡部). 石垣島—1♂ 2♀ 真栄里山 2. vii. 1962 (丸岡) ; 1♀ ぼんな岳 24. vii. 1962 (野村) ; 2♂ おもと岳 2. viii. 1962 (野村). 西表島—1♀ 21. vii. 1962 (丸岡) ; 1♀ 大富 27. vii. 1962 (浜).
分布 : 石垣島・西表島・波照間島.
160. *Nanohammus subfasciatus* (Matsushita) タイワンクリイロシラホシカミキリ (新称)
Rarasanus subfasciatus Matsushita, 1941, Ins. Matsum., 15 (4) : 157
Nonohammus taiyal Gressitt, 1951, Longicornia 2 : 628 ; 1956, Suppl., pl. 1, fig. 6
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (1) : 17, pl. 3, fig. 17
? *Nonohammus oshimanus* Breuning et Ohbayashi, 1964, Bull. Japan Ent. Acad., 1 (1) : 15 (オオシマクリイロシラホシカミキリ)
沖縄—3 exs. 与那 5. v. 1963 (野村). 奄美大島—2♂ 波津野 iv. 1963 (丸岡).
分布 : 奄美大島・沖縄 (新記録) ; 台湾.
161. *Uraecha oshimana* Breuning オオシマヤハズカミキリ
Breuning, 1954, Bull. Soc. ent. Fr., 59 : 70, fig. 3
沖縄—1♀ 名護 29. iv. 1961 ; 2 exs. 5, 6. v. 1963 (野村) ; 2 exs. 与那 8. v. 1963 (野村) ; 2 exs. 与那覇岳 10. v. 1963 (野村).
分布 : 奄美大島・徳之島・沖縄.
162. *Monochamus alternatus* Hope マツノマダラカミキリ
Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8) : 142
分布 : 沖縄 ; 本州・四国・九州・台湾・朝鮮・南支那.
163. *Monochamus fascioguttatus* Gressitt ホシオビヒゲナガカミキリ
Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (2)

- : 35, pl. 7, fig. 1
 分布: 奄美大島; 屋久島・種子島・台湾・中国。
 注: 台湾産と琉球産の個体群との間には若干の形態上の相違が認められるようである。
164. *Monochamus maruokai* Hayashi キマダ
 ラヒメヒゲナガカミキリ (新称)
 Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 15 (1)
 : 8, pl. 1, fig. 9
 西表島—1 ex. 白浜 9. vi. 1963.
 分布: 石垣島・西表島。
165. *Opepharus (Zephyropepharus) asiaticus*
 Hayashi コゲチャフタモンヒゲナガカミキリ (新称)
 Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 15 (1)
 : 7, pl. 1, fig. 8
 西表島—1♂ 浦内川上流 14. vii. 1962 (小西).
 分布: 西表島。
166. *Acalolepta ferriei* (Breuning) フェリエ
 ビロウドカミキリ
Cypriola ferriei Breuning, 1954, Bull. Soc. ent. Fr., 59: 73
 沖縄—1 ex. 与那覇岳 10. v. 1963 (野村).
 分布: 奄美大島・沖縄。
167. *Acalolepta luxuriosa* (Bates) センノカミ
 キリ
 Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8): 44
 Gressitt, 1950, Philip. Jl. Sci., 79 (2)
 : 216
 分布: 奄美大島・沖縄? ; 日本全土・朝鮮・北部中国。
168. *Acalolepta luxuriosa* (Bates) subsp. *kuniyoshii* Hayashi オキナワセンノカミキリ (新称)
 Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1)
 : 11, 2, fig. 2
 分布: 沖縄。
169. *Acalolepta oshimana* (Breuning) オオシ
 マビロウドカミキリ (新称)
Cypriola oshimana Breuning, 1954, Bull. Soc. ent. Fr., 57: 73
 分布: 奄美大島・徳之島。
170. *Acalolepta oshimana* (Breuning) subsp. *omoro* Hayashi オキナワビロウドカミキリ (新称)
 Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1)
 : 11 pl. 2, fig. 3
 分布: 沖縄。
171. *Acalolepta permutans* (Pascoe) subsp. *okinawana* Gressitt オキナワキンケビロウドカミキリ (新称)
Dihammus permutans Pascoe subsp. *okinawanus* Gressitt, 1950, Philip. Jl. Sci., 79 (2): 216, fig. 2
 沖縄—16 exs. 首里 8~16, 23. v. 1961 (フカノキ樹上より), 5 exs. 16, 17. v. 1962 (フカノキの生葉を後食)
 分布: 沖縄。
 注: 成虫の後食については比和科学博物館研究報告(6), 1963に報告した。
172. *Acalolepta permutans* (Pascoe) subsp. *paucipunctatus* Gressitt キンケビロウドカミキリ
Dihammus permutans Mitono (nec Pascoe), 1940, Cat. Col. Jap., (8): 145
 分布: 石垣島・西表島; 台湾。
173. *Acalolepta sejuncta* (Bates) subsp. *amamiana* Hayashi アマミビロウドカミキリ (新称)
 Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (2)
 : 36, pl. 7, fig. 4
 分布: 奄美大島・屋久島。
174. *Acalolepta sejuncta* (Bates) subsp. *hamai* Hayashi トカラビロウドカミキリ (新称)
 Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (2)
 : 36, pl. 7, fig. 5
 分布: とから列島(中の島)。
175. *Acalolepta sublusca* (Pascoe) subsp. *maculihumera* Matsushita カタモンビロウドカミキリ
Dihammus subluscus Pascoe subsp. *maculihumerus*: Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8): 146
 石垣島—1♂ 石垣市 30. v. 1962.

分布：石垣島；台湾。

176. *Mimorsidis scutellatus* Gressitt アナバナ
ヒゲナガカミキリ (新称)

Gressitt, 1951, Longicornia 2 : 404, 16, fig.
3

Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1)
: 11, 2, fig. 4

西表島—2 exs. 白浜 4, 11. x. 1964.

分布：石垣島・西表島；中国。

注：Samuelson (1965) は八重山のものとは別種
として次種を記載した。

Mimorsiddis yayeyamensis Samuelson
Samuelson, 1965, Pacific Ins., 7 (1) :
96, fig. 2 (Ishigaki, Iriomote)

Batocerini

177. *Batocera lineolata* Chevrolat シロスジカ
ミキリ

Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (2)
: 37

分布：奄美大島・徳之島；本州・四国・九州・
朝鮮・台湾・中国。

178. *Apriona rugicollis* Chevrolat シナクワカ
ミキリ (新称)

Yashiro, 1927, Okinawa Sugar Exp. Sta.
Bull., 1 : 7

沖縄—1♀ 首里 7. vii. 1958 (仲地), 4♂
2♀ 10, 13. vi. 1960, 4 exs. 6, 20. vi.
1961, 1 ex. 12. vi. 1962 (シマグワの生木の
樹皮を後食), 1♀ 31. vi. 1963.

分布：奄美大島, 沖縄・石垣島；台湾・中国・
アッサム。

注：成虫の後食と幼虫の形態については、それぞれ比
和科学博物館研究報告 (6), 1963; (8), 1965
に報告した。

Dorcaschematini

179. *Olenecamptus bilobus* (Fabricius)
subsp. *nipponensis* Dillon et Dillon
リュウキュウムツボシミロカミキリ

Olenecamptus sexpustulatus Matsumura :
Sakaguchi, 1927 Prov. List. Ins. Okinawa
(Nom. nud.)

Olenecamptus bilobus : Miwa, 1933, Tr. N.
H. Soc. Formosa, 23 : 12

沖縄—1♂ 首里 20. vi. 1958 (仲地), 1 ex.
22. viii. 1960 (ガジュマルの生葉を後食) (岡
部), 3 exs. 14, v. 8. vi. 1962 (ガジュマル
の生葉を後食), 2 exs. 15, 18. v. 1963. 石
垣島—7 exs. 石垣市 20, 22. v. 1962 (ガジ
ュマルの生葉を後食); 1♂ ばんな岳 25.
vii. 1962 (浜); 1♀ 真栄里山 2. viii. 1962
(丸岡). 西表島—13 exs. 大富・大原 25. v.
1962 (ガジュマル・オオバアコウの生葉を後
食); 3♂ 1♀ 祖納 27. vii. 1962 (丸岡).
分布：沖縄・宮古島・石垣島・西表島・波照間
島。

注：成虫の後食については (次亜種を含めて) 比和科
学博物館研究報告 (6), 1963 に報告した。

180. *Olenecamptus bilobus* (Fabricius) subsp.
taiwanus Dillon et Dillon タイワンムツ
ボシシロカミキリ

Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus.
N. H., 9 : 21

沖縄—1♂ 石川 6. vi. 1962 (ガジュマルの
生葉を後食).

注：この記録は分布的に興味がある。

分布：とから列島 (宝島)・与論島・沖縄；屋
久島・台湾。

181. *Olenecamptus octopustulatus* Motschulsky
subsp. *formosanus* Pic タカサゴシロカミ
キリ

Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8) : 165

分布：奄美大島・徳之島・与論島；本州・四
国・九州・屋久島・台湾。

Xenoleini

182. *Xenolea asiatica* Pic ユキゲヒゲナガカミ
キリ

Xenolea tomentosa asiatica : Gressitt, 1951,
Philip. Jl. Sci., 79 (2) : 221

与那国島—4 exs. v. 1957 (岡部). 石垣島—8
exs. 30. viii. 1961 (岡部); 55 exs. 石垣市
20~23, 30. v. 1962. 西表島—15 exs. 大富・
大原 26, 28. v. 1962; 2 exs. 白浜 5, 8.

x. 1963.

分布：奄美大島・石垣島・西表島・与那国島・
南大東島；九州・屋久島・台湾・中国・海南
島・東南アジア・インド.

Rhodopinini

183. *Sophronica obrioides* (Bates) イボタサ
ビカミキリ

Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus.
N. H., 9: 17

分布：とから列島(中の島)・奄美大島；本州・
四国・九州・対馬.

184. *Penthides flava* Matsushita* キイロアラ
ゲカミキリ

Matsushita, 1933, Jl. Fac. Agr. Hokkaido
Univ., 34 (2): 431, pl. 5, fig. 8

分布：奄美大島；本州・台湾.

注：林は丸岡宏氏の好意で奄美大島産の本種を検する
ことができた。

185. *Cylindilla formosana* Gressitt タイワン
ツツサビカミキリ(新称)

Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1)
: 14

西表島—3 exs. 大富・大原 29. vii. 1962(浜).

石垣島—1 ex. 2. viii. 1962(丸岡)；3 exs.

おもと岳 4. viii. 1962(野村).

分布：石垣島・西表島；台湾.

186. *Mimectatina meridiana* (Matsushita)

コゲチャサビカミキリ

Miwa, 1935, Tr. Kansai Ent. Soc., 6:
251, pl. 3, fig. 10

石垣島—1♀ おもと岳 30. viii. 1961(岡
部), 1♂ 2. viii. 1962(浜), 1♂ 29. iv.

1963(野村)；1♂ 1♀ 石垣市 22. v. 1962；

1 ex. ばんな岳 27. vii. 1962(浜). 沖縄—

1♀ 首里 31. v. 1962. 与那国島—2♀ 祖

納 8. vii. 1962(丸岡). 西表島—1♂ 21.

vii. 1962(丸岡)；大富 27, 29. vii. 1962.

分布：奄美大島・沖縄・石垣島・西表島・与那
国島；四国・九州・屋久島・種子島・台湾・
ハワイ.

187. *Doiuis divaricatus* (Bates) subsp.

fulvovariegatus Hayashi リュウキュウド
イカミキリ(新称)

Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1)

: 14, pl. 2, fig. 8

分布：奄美大島・西表島・口永良部島.

188. *Diboma costata* (Matsushita) オキナワ
サビカミキリ

Sydonia costata Matsushita, 1933, Jl. Fac.
Agr. Hokkaido Univ., 34 (2): 379, pl.
5, fig. 1

沖縄—2 exs. 首里 23, 26. v. 1961(タイミ
ンチクの幹上より). 与那国島—4 exs. 祖納
7~12. vii. 1962(丸岡).

分布：奄美大島・徳之島・沖縄・西表島・与那
国島(新記録)；海南島.

189. *Microzotale uenoi* Hayashi フタモンチビ
サビカミキリ

Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. N. H.,
9: 18, pl. 5, fig. 5

奄美大島—1 ex. 波津野 20. vi. 1963(野村).

分布：とから諸島(中の島)・奄美大島.

190. *Euryclytosemia nomurai* Hayashi ヨナ
グニジュウジクロカミキリ(新称)

Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1)
: 15, pl. 2, fig. 10

分布：与那国島.

190. *Rhodopina okinawensis* (Matsushita)
オキナワコブヒゲカミキリ

Rhodopis okinawensis Matsushita, 1933, Jl.
Fac. Agr. Hokkaido Univ., 34 (2): 350,
pl. 4, fig. 11

沖縄—1♂ 与那 2. vi. 1962；1♀ 明治山
5. vi. 1962.

分布：奄美大島・沖縄.

192. *Rhodopina okinoerabuana* Hayashi オキ
ノエラブコブヒゲカミキリ

Hayashi, 1961, Bull. Osaka Munic. Mus.
N. H., 13: 67, fig.

分布：沖永良部島.

193. *Rhodopina tokarensis* Hayashi トカラコ
ブヒゲカミキリ

Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. N. H.,

- 9: 14, pl. 4, fig. 4
 分布: とから列島 (中の島).
194. *Euseboides matsudai* Gressitt オビレカミキリ
 Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (2) : 37
 石垣島—1♀ おもと岳 4. viii. 1962 (浜).
 分布: 奄美大島・沖縄・石垣島; 本州・九州・台湾.
- Acanthocinini
195. *Ostedes inermis* Schwarzler subsp. *densepunctatus* Hayashi アマミハリムネモモブトカミキリ (新称)
 Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (2) : 39, pl. 7, fig. 8
 分布: 奄美大島.
196. *Rondibilis femoratus* Gressitt* ムモントゲバカミキリ
 Gressitt, 1938, Philip. Jl. Sci., 65 (3) : 165, pl. 1, fig. 1
 沖縄—1♂ 首里 9. vii. 1961 (仲地).
 分布: 沖縄 (新記録); 台湾.
197. *Rondibilis multinotatus* Gressitt subsp. *elongatus* Hayashi モモブトゲバカミキリ (新称)
 Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1) : 14, pl. 2, fig. 9.
 分布: 沖縄・石垣島・西表島・波照間島.
 注: Breuning & Ohbayashi (1964b) は本亜種の所屬を変更して, *Eryssamena elongata* (Hayashi) ヒヨウマグラトゲバカミキリとし, 次の1新亜種を記載した.
198. *Eryssamena elongata* (Hayashi) subsp. *minor* Breuning et Ohbayashi ヒヨウマグラトゲバカミキリ (沖永良部島亜種)
 Breuning & Ohbayashi, 1964b, Bull. Japan Ent. Acad., 1 (6) : 28
 分布: 沖永良部島.
199. *Eryssamena amanoi* Hayashi ツクシトゲバカミキリ
 Hayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13 (1) : 23
 食樹は *Pinus* sp. らしい。
 分布: 奄美大島; 屋久島・九州.
200. *Eryssamena insularis* Hayashi シマトゲバカミキリ (新称)
 Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (2) : 35, pl. 7, fig. 7
 分布: 奄美大島; 九州 (佐多岬).
201. *Miaenia brevicollis* Gressitt ヤエヤマケシカミキリ (新称)
 Gressitt, 1951, Phillip. Jl. Sci., 79 (2) : 225, fig. 3
 西表島—5 exs. 20, 27. vii. 1962 (丸岡). 石垣島—1 exs. おもと岳 2. viii. 1962 (浜), 1 ex. 17. iv. 1963 (野村).
 分布: 石垣島・西表島.
202. *Miaenia hirashimai* Samuelson オキナワケシカミキリ (新称)
 Samuelson, 1965, Pacific Ins., 7 (1) : 121, fig. 4
 分布: 沖縄.
203. *Miaenia nakanei* Hayashi トカラケシカミキリ
 Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus. N. H., 9 : 18, pl. 5, fig. 5
 分布: とから列島 (中の島)・奄美大島.
204. *Miaenia (Pseudocidnus) nobuoi* Breuning et Ohbayashi ノブオチビカミキリ
 Breuning & Ohbayashi, 1964b, Bull. Japan Ent. Acad., 1 (6) : 29
 分布: 奄美大島.
205. *Miaenia (Pseudocidnus) longicollis* Breuning et Ohbayashi クビナガチビカミキリ
 Breuning & Ohbayashi, 1964b, Bull. Japan Ent. Acad., 1 (6) : 29
 分布: 奄美大島.
206. *Estoliops fasciatus* Matsushita クロオビトゲムネカミキリ
 Hayashi, 1956, Bull. Osaka Munic. Mus. N. H., 9 : 17
 沖縄—2 exs. 与那 2. vi. 1962; 1♂ 1♀

- 与那覇岳 9. viii. 1962 (丸岡).
 分布：とから列島(中の島)・奄美大島・沖縄；
 本州・九州.
203. *Estoliops fasciatus* Matsushita subsp.
sakishimanus Gressitt サキシマトゲムネカ
 ミキリ (新称)
Miaenia sakishimanus Gressitt, 1951, Phi-
 lip. Jl. Sci., 79 (2) : 227, fig. 4
 石垣島—4 exs. 石垣市 23, 30. v. 1962; 1
 ex. ばんな岳 24. vii. 1962 (野村); 1♂
 2♀ 真栄里山 2. viii. 1962 (丸岡); 1 ex.
 おもと岳 2. viii. 1962 (浜・野村), 1 ex.
 29. iv. 1963 (野村). 与那国島—3 exs. 宇良
 部岳 20. vii. 1962 (野村). 西表島—1 ex.
 白浜 12. x. 1963.
 分布：石垣島・西表島・与那国島 (新記録).
208. *Exocentrus hayashii* Samuelson ハヤシ
 ケシカミキリ (新称)
 Samuelson, 1965, Pacific Ins., 7 (1) :
 119, fig. 3
 分布：石垣島.
209. *Exocentrus (Exocentrus) lineatus* Bates
 アトモンマルケシカミキリ
 Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (2)
 : 39
 沖縄—1 ex. 明治山 3. vii. 1961; 10 exs.
 与那 2, 3. vi. 1962; 3 exs. 名護 4. vi.
 1962; 1 ex. 国頭 20. vi. 1963. 石垣島—4
 exs. 20, 30. v. 1962.
 分布：奄美大島・沖縄・石垣島；本州・四国・
 九州.
210. *Exocentrus (Exocentrus) lineatus* Bates
 subsp. *satoi* Ohbayashi アトモンマルケシ
 カミキリ (とから亜種)
 Ohbayashi, 1961, Ent. Rev. Japan, 13
 (1) : 20, text fig. 2
 分布：とから列島 (中の島).
211. *Exocentrus (Exocentrus) lineatus* Bates
 subsp. *nobuoi* Breuning et Ohbayashi ア
 トモンマルケシカミキリ (奄美大島亜種)
 Breuning & Ohbayashi, 1964b, Bull. Japan
 Ent. Acad., 1 (6) : 29
 分布：奄美大島.
- Saperdini
212. *Eutetrappa ocelota* Bates ヤツメカミキ
 リ
 Samuelson, 1965, Pacific Ins., 7 (1) :
 127
 分布：沖縄；日本全土.
213. *Pareutetrappa magnifica* (Schwarzer)*
 ムネモンウスアオカミキリ
Saperda magnifica Schwarzer, 1925, Ent.
 Blätt., 21 : 148
 西表島—1♂ 11. iv. 1961 (梅林) (シイの1
 種のたき木より羽化, 脱出) (植防大阪支所).
 分布：西表島 (新記録)；台湾.
214. *Glenea (Glenea) chlorospila* Gahan リュ
 ウキュウルリボシカミキリ
 Gahan, 1897, Ann. Mag. N. H., 6, 19 :
 488
 沖縄—3 exs. 与那覇岳 8, 21. iv. 1953 (素
 木) 1 ex. 10. v. 1963 (野村); 1 ex. 名
 護 22. vi. 1953 (素木); 1 ex. 嵩江 12.
 vi. 1959; 1♂ 与那 8. v. 1963 (野村).
 分布：とから列島(中の島・宝島)・奄美大島・
 沖縄；四国 (南端)・九州 (南端)・屋久島・
 種子島・台湾.
215. *Glenea (Glenea) iwasakii* Kano イワサ
 キキンスジカミキリ
 Kano, 1933, Kontyu, 7 : 139
 石垣島—1 exs. おもと岳 19. iv. 1963 (野
 村).
 分布：奄美大島?・石垣島・西表島；台湾.
216. *Glenea (Glenea) lineata* Gahan subsp.
lineata Gahan スジシロカミキリ
 Gahan, 1897, Ann. Mag. N. H., 6, 19 :
 483
 沖縄—4 exs. 名護・明治山 22. vi. 1953 (素
 木); 1 ex. 辺土名 19. vi. 1953; 5 exs. 与
 那 2, 3. vi. 1962 (ナシカヅラ・サンゴジュ
 の生葉を後食).

分布：とから列島（中の島）・奄美大島・徳之島・沖縄；台湾。

注：成虫の後食については比和科学博物館研究報告（6），1963に報告した。

217. *Glenea (Glenea) lineata* Gahan subsp. *sauteri* Schwarzer ザウテルキスジホシカミキリ

Miwa, 1933, Tr. N. H. Soc. Formosa, 23: 13

石垣島—1♂ おもと岳 2. viii. 1962 (浜).

西表島—1♂ 白浜 11. x. 1963.

分布：沖縄・石垣島・西表島；台湾。

注：Breuning & Ohbayashi (1964b) は *Glenea (Glenea) sautari* Schwarzer subsp. *ryukyuensis* を石垣島・西表島から記載したが、これは上記の学名の下に報告するものと同一のものであろう。

218. *Glenea (Glenea) formosana* Schwarzer キスジトガリカミキリ

Glenea formosana Schwarzer f. *lineatoculata* Schwarzer: Hayashi, 1960, Ent. Rev. Japan, 11 (1): 29, pl. 4

西表島—1♂ 25. vii. 1962 (丸岡).

分布：石垣島・西表島；台湾。

219. *Oberea bicoloripes* Pic. var. *ishigakiana* Matsushita イシガキリンゴカミキリ (新称)

Matsushita, 1941, Ins. Matsum., 15 (4): 158

分布：石垣島。

注：動物命名規約を厳密に適用すれば、本変種は一応採用出来ず *O. bicoloripes* Pic. として記録すべきであろうが、Breuning (1955) は *bicoloripes* を *Obereopsis* に移した際、*ishigakiana* に言及し、これは *bicoloripes* に所属するものかどうか、うたがわしいとしたし、Gressitt (1951) は暫定的に *bicoloripes ishigakiana* と亜種に引あげ、収録しているし、Samuelson (1965) もこれに従っている。タイプを再検討してその正しい分類学的位置

の決定するまで、原著のまま仮に収録しておく。

220. *Oberea griseopennis* Schwarzer クスノハイイロリンゴカミキリ

Mitono, 1940, Cat. Col. Jap., (8): 214

沖縄—1 ex. 明治山 28. iv. 1959; 1 ex. 与那 2. vi. 1962; 1 ex. 石川 10. v. 1963

(タブノキ、クスノキの生葉の葉脈を後食し線状の孔をあける), 10 exs. 6. iii. 1964 (タブノキの枝の中より幼虫も採集); 1 ex. 名護 28. ii. 1964 (タブノキの枝の中より、幼虫も採集).

分布：沖縄；台湾。

注：水戸野 (1940) は沖縄のほか、本種の分布に奄美大島をあげ、また関 (1949) は屋久島種の本種を報告しているが、はたしてこの両者の記録の基となったものが、真の *griseopennis* であるかどうか現在のところ、疑わしいので分布に加えなかった。

幼虫の形態は比和科学博物館研究報告 (8), 1965 に報告した。

221. *Oberea shibatai* Hayashi アマミリンゴカミキリ (新称)

Hayashi, 1962, Ent. Rev. Japan, 14 (2): 40, pl. 7, fig. 9

沖縄—1♂ 与那覇岳 11. iv. 1953 (素木) (新記録).

分布：奄美大島・徳之島・沖縄。

注：大林 (1964) が沖永良部島から記載した *Oberea umebayashii* Ohbayashi オキノエラ布林ゴカミキリは恐らく本種の色彩の変化したものであろう。原記載による限り *O. shibatai* と体制上、顕著な相違は認め難いように思われる。

222. *Oberea shirakii* Hayashi ミヤコリンゴカミキリ (新称)

Hayashi, 1963, Ent. Rev. Japan, 16 (1): 16, pl. 2, fig. 11

分布：宮古島。

R É S U M É

The longicorn beetles of Ryukyu Islands were firstly come to light by Rev. J. B. Ferrié of a French mission had once lived in the region through René Oberthür, a famous owner of rich collection of beetles in France who sent the material to certain specialists for study. Some of them had been fragmentarily described or reported by Schönfeldt (1890), Fairmaire (1895, '97), Gahan (1897) and Vuillet (1911), and very lately by Breuning (1954-'60) as a

result of his reexamination of the collection removed to Museum national d'Histoire naturelle, Paris, after R. Oberthür's death. In the posterior half of 1920 era, three catalogues were appeared, two of which were of the insects from the Ryukyus and the remaining one was the Cerambycidae of Japan by Yashiro (1927), Sakaguchi (1927) and Kano (1926), and in and after 1930 era, the systematic studies were firstly appeared by the Japanese specialists, such as Kano (1933), Matsushita (1932-'34, '38, '41), Mitono (1947) and by an American author, Gressitt (1934, '35, -'37). Results of survey of Coleoptera were reported by Miwa (1933, '34, '35) and distributional data was added by Mitono (1940) in his catalogue. After the world war II, it was a most noticeable work on Ryukyuan Cerambycidae, that Gressitt (1950) firstly revised all of known members from the region, in which 89 species (incl. subspecies) were treated. Many entomologists frequently visited various islets and many fresh material was collected from the region in addition to various seasons. It would be possibly to say the surveys after 1946 become more systematically and thoroughly than those of earlier era. Hayashi (1956, '57, '60, -'64) contributed to the knowledge adding many new and unrecorded species through the courtesy of Osaka Museum of Nat. Hist., Nat. Sci. Mus, Tokyo, Dr. T. Shiraki, Mr. T. Shibata, Mr. H. Nomura, Mr. Y. Hama, Mr. H. Maruoka and the other good friends, and also of S. Kojima, S. Kuniyoshi and H. Watanabe who consist of co-authors of the present report. Ohbayashi (1960, '61, '63, '64) also described some additional ones, last part of them (1964) was cooperated by S. Breuning. On the other hand, Breuning published many valuable papers containing the descriptions of surprising numbers of new forms and groups of Lamiinae, in addition to many tribal revisions of world wide point of view, in which certain species were also reported from the present region, and Dillon and Dillon (1948) described one *Olenecamptus* subspecies. Therefore in past 15 years, more than twice of the numbers of longicorn beetles from the region came to light, of Gressitt had treated in 1950. Very recently, Samuelson and Gressitt (1965) published two papers of Ryukyuan Cerambycidae and 198 species (incl. subspecies) were recorded, as one of the results of Japan-US. Science Cooperation Program.

In the present paper, 222 species (incl. subspecies) are herein enumerated a part of which was collected by the authors themselves chiefly in their 1962 survey to Okinawa and Yayeyama Islands and the other part of which was collected by the above-mentioned many entomologists of Osaka and Tokyo appeared in Hayashi's works.

Especially the host plants of certain species are actually recorded herein according to their field observation.

Additionally zoogeographical analysis for Ryukyuan Cerambycidae and cited literature are added in two chapters.

参 考 文 献

- Breuning, St. ; 1934—1946, Etudes sur les Lamiinae ; Novitates Ent. Suppl. 3, I : 1—568 ; II : 1—615, 368 figs.
Breuning, St. ; 1939, Novae Species Cerambycidarum VII ; Festschrift für Prof. Dr. E. Strand 5 : 144—290. 1940, Ditto VIII ; Folia Zoologica et Hydrobiologica, 10 : 37—85.
Breuning, St. ; 1949, Notes systematiques sur les Lamiinae (Col. Ceramb.), Bull. Inst. roy. Sci. nat. Belgique, 25 (38) : 1—38.

- Breuning, St. ; 1953, Nouvelles formes de Lamiaires (Quatrieme Partie), Bull. Inst. roy. Sci. nat. Belgique, 29 (8) : 1—38, figs. 1958, (Dixieme Partie), 34 (22) : 1—47 figs. 1960, (Douzieme Partie), 36 (7) : 1—30, figs. 1961, (Treizieme Partie), 37 (20) : 1—44, figs. 1962, (Quatorzieme Partie), 38 (40) : 1—16, figs.
- Breuning, St. ; 1955 (1957), Revision du Genre *Obereopsis* Chevrl. (Ins. Col. Ceramb. Lam.), Ind. Forest Record (New Series) Ent. : 1—122, figs.
- Breuning, St. ; 1956, Revision der Gattung *Glenea* Newm., Ent. Arbeit. Mus. Frey, 7 (1) : 1—199, 2 pls. II, 7 (2) : 671—893, figs. 1958, III, 9 (1) : 229—351, IV, 9 (3) : 804—907.
- Breuning, St. ; 1950, Revision des "Xenoleini", Longicornia 1 : 271—278, figs. Revision des "Homonoieini", : 317—377, figs.
- Breuning, St. ; 1954, Nouveaux Lamiaires du Muséum national d'Histoire naturelle (1^{re} note) (Col. Ceramb.), Bull. Soc. ent. France, 59 : 68—73. 1955, (2^e note), 60 : 59—64 & 70—77. 1957, (3^e note), 62 : 261—270 & 1958, 63 : 31—37. 1960, (4^e note), 65 : 29—36 & 143—149, figs.
- Breuning, St. ; 1957, Nouveaux Lamiaires du Rijksmuseum van Natuurlijke Historie, Zoologische Mededelingen, 35 (9) : 113—123, figs.
- Breuning, St. ; 1962, Bestimmungstabelle der Lamiiden-Triben nebst Revision der Pteropliini der asiatischen Region (Col. Ceramb.) I Teil, Ent. Arb. Mus. Frey, 13 (2) : 371—493, figs. 1963, II Teil, 14 (1) : 168—251. III Teil, 14 (2) : 466—537, figs.
- Breuning, St. & K. Ohbayashi ; 1964, Nouveaux Lamiaires du Japon (Col. Ceramb.), Bull. Japan Ent. Academy, 1 (4) : 15—18.
- Breuning, St. & K. Ohbayashi 1964 b, Nouveaux Lamiaires du Japon (2^e Partie) (Col. Ceramb.), Bull. Japan Ent. Academy, 1 (6) : 27—29.
- Chevrolat, A. ; 1863, Clytides d'Asie et d'Océanie, Mem. Soc. Sc. Liège, 18 : 253—350.
- Chûjô, M. ; 1959, Coleoptera of the Loochoo Archipelago (1), Mem. Fac. Lib. Arts & Educ., Kagawa Univ., 11 (69) : 1—15, figs.
- Dillon, L. S. & E. S. Dillon ; 1948, The Tribe Dorcaschematini, Tr. Amer. Ent. Soc., 73 : 173—298, 14 pls.
- Fairmaire, L. ; 1895, Description d'un Cléride de Madagascar et d'un Cérambycide du Japon, Bull. Soc. ent. France : 389—391.
- Fairmaire, L. ; 1897, Description de six coléoptères de l'île Ishigaki Sima, Bull. Soc. ent. France : 68—72.
- Gahan, C. J. ; 1897, Notes on the longicorn genus *Glenea* Newman, with description of new species, Ann. Mag. Nat. Hist., (6) 19 : 473—493.
- Gressitt, J. L. ; 1934, New Longicorns from the Japan Empire, Pan-Pacific Ent., ; 9 : 163—170.
- Gressitt, J. L. ; 1935, New Longicorn beetles from the Japanese Empire, II, Philippine Jl. Sci., 55 : 379—386.
- Gressitt, J. L. ; 1935, The Oabriini of the Japanese Empire, Ins. Matsum., 9 : 144—153.
- Gressitt, J. L. ; 1937, New Japanese Longicorn beetles, II, Kontyu, 11 : 317—326, figs.
- Gressitt, J. L. ; 1950, Longicorn Beetles from the Ryukyu Islands (Col. Ceramb.), Philippine Jl. Sci., 79 (2) : 193—235, figs.
- Gressitt, J. L. ; 1951, Longicorn Beetles of China, Longicornia 2 : 1—667, 22 pls.
- Hayashi, M. ; 1956, Entomological Results from the Scientific Survey of the Tokara Islands. V. Col. : Cerambycidae, Bull. Osaka Munic. Mus. N. H., 9 : 11—22, 2 pls.
- Hayashi, M. ; 1957, Studies on Cerambycidae from Japan and its Adjacent Regions (VII), Akitu, 6 : 37—40, figs. (VIII), Ent. Rev. Japan, 8 (2) : 45—48, figs. 1961, (XIII), Ent. Rev. Japan, 13 (1) : 21—26, 1 pl.
- Hayashi, M. ; 1960, Study of the Lepturinae (Col. Ceramb.), Niponius, 1 (6) : 1—26, figs.
- Hayashi, M. ; 1960, An analysis of Japanese Cerambycid-fauna, with special reference to distribution belts, Pacific Ins., 2 (2) : 123—131, figs.
- 林 匡夫 ; 1960, 琉球諸島の天牛類 (1). Additions to the Cerambycid-Fauna of the Loochoo Archipelago (Col.) (1), 昆虫学評論, 11 (1) : 21—29, 1 pl.
- 林 匡夫 ; 1961, 日本のかみきりむし (4). The Cerambycidae of Japan (4) 昆虫学評論, 13 (2) : 53—60, 2 pls. 1962, (5), 14 (1) : 25—36, 1 pl. 1964, (6), 17 (2) : 69—76, figs.
- Hayashi, M. ; 1961, The Cerambycidae from Amami-Ōshima Islands, I, Ent. Rev. Japan, 13 (2) : 35—46, 2 pls. 1962, II, 14 (1) : 8—18, 2 pls. III, 14 (2) : 35—41, 1 pl.
- Hayashi, M. ; 1961, Une nouvelle espèce de *Rhodopina* du Nord des îles Ryukyu (Col. Ceramb. Lam.), Bull. Osaka Mus. N. H., 13 : 67—70, fig.

- Hayashi, M. ; 1962, The Cerambycidae of Ryukyu Islands I, Ent. Rev. Japan, 15 (1) : 1—8, 1 pl. 1963, II, 15 (2) : 50—55, 1 pl. & III, 16 (1) : 10—16, 1 pl.
- 林 匡夫 ; 1962, 琉球諸島の天牛相の分析 (予報), 日本甲虫学会第14回大会講演.
- 林 匡夫・野村英世 ; 1964, 八重山群島波照間島の天牛類. Cerambycidae from Is. Hateruma, Yayeyama Isl., S. Ryukyu, 昆虫学評論, 17 (2) : 67—68, fig.
- Kano, T. ; 1926, Notes on longicorn Coleoptera from Japan I, Tr. N. H. Soc. Formosa, 16 : 101—137.
- Kano, T. ; 1933, New and Unrecorded longicorn beetles from Japan and its adjacent territories, Kontyu, 6 : 259—291, pl. II, Kontyu, 7 : 130—140.
- 小島 圭三 ; 1959, 日本産カミキリムシの幼虫の形態学的研究, 高知大学農学部紀要, (6) : 1—72, 23 pls.
- 小島圭三・岡部正明 ; 1960, 日本産カミキリムシ食樹総覧 : 1—330, 8 pls.
- 小島圭三・渡辺弘之 ; 1960, 日本産カミキリムシの形態学的研究, 第2報, 高知大学学術研究報告, 9, 自然科学 II, (6) : 39—48, 3 pls.
- 小島圭三・国吉清保・岡部正明 ; 1961, 琉球におけるタケ類の害虫サビアヤカミキリについて, 第71回日本林学会大学講演集 (1961) : 313, fig.
- 小島圭三・渡辺弘之・国吉清保 ; 1961, イエカミキリの幼虫, げんせい, (11) : 9—10, figs.
- 小島圭三・渡辺弘之・中村慎吾 ; 1962, カミキリムシの後食—生きた植物を食べる場合, 比和科学博物館研究報告, (5) : 16—23, 4 pls. 1963, (第2報), (6) : 19—20, 2 pls.
- 小島圭三・渡辺弘之・国吉清保 ; 1964, 琉球におけるサビアヤカミキリについて, 日本応用動物昆虫学会誌, 8 (1) : 76—78, figs.
- 小島圭三・中村慎吾・国吉清保・渡辺弘之 ; 1965, 琉球産カミキリムシ幼虫7種の形態, 比和科学博物館研究報告, (8) : 15—20, 2 pls.
- 国吉清保・小島圭三 ; 1962, モクマオウ類に加害する3種のカミキリムシについて, 琉球政府経済局林務課, 林業資料, (2) : 1—10, figs.
- 国吉清保・小島圭三・渡辺弘之 ; 1962, イエカミキリの幼虫, 同上, (2) : 11—13, figs.
- Matsushita, M. ; 1932, Die Callidiopinen von japanischen Reich, Ins. Matsum., 7 : 65—73, figs.
- Matsushita, M. ; 1933, Ueber die neuen Cerambyciden-Arten Japans, Ins. Matsum., 7 : 103—110, figs.
- Matsushita, M. ; 1933, Beitrag zur Kenntnis der Cerambyciden des japanischen Reichs, Jl. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ., 34 (2) : 158—445, i-x, 5 pls.
- Matsushita, M. ; 1934, Ueber einige japanische Bockkafer, Tr. N. H. Soc. Formosa, 24 (133) : 237—241.
- Matsushita, M. ; 1938, Zur Kenntnis der japanischen Cerambyciden, Kontyu, 12 (3) : 93—97. (VI), 1941, Ins. Matsum. 15 (4) : 151—158, figs.
- Mitono, T. ; 1940, Catalogue Coleopterorum Japonicorum, (8) Cerambycidae : 1—283.
- Mitono, T. ; 1941, Monography of Clytini in the Japanese Empire (Ceramby. Col.), Bull. School Agr. Forest., Taihoku Imp. Univ., (2) : 74—119, 5 pls. Part II, 1942, (3) : 76—120, 3 pls.
- Mitono, T. ; 1947, On two new species of the genus *Pseudallotraeus*, Mushi, 18 : 23—26.
- Miwa, Y. ; 1933, An enumeration of Coleoptera from the Island Iriomote in Loochoo, with descriptions of new species, Tr. N. H. Soc. Formosa. 33 : 4—15, figs.
- Miwa, Y. ; 1935, An enumeration of Coleoptera from the islet of Yonakuni in Loochoo, collected by Prof. T. Esaki in July, 1934, Mushi, 8 : 37—38.
- Miwa, Y. ; 1935, Coleoptera from Amami-Island in Loochoo Archipelago, Tr. Kansai Ent. Soc., 6 : 11—30, 2 pls.
- 仲宗根平男 ; 1960, 沖縄本島北部産材のイエカミキリ (*Stromatium longicorne* Newm.) に対する耐虫性について, 琉球大学農家政工学部学術報告, (7) : 377—382, figs.
- 中村慎吾・小島圭三 ; 1965, 燈火に飛來するカミキリムシ, 比和科学博物館研究報告, (8) : 11—14.
- Ohbayashi, K. ; 1959, New Cerambycidae from Japan (5), Ent. Rev. Japan, 10 (1) : 1—3, figs. 1961, (6), 13 (1) : 16—20, pl. 1964, (7), Bull. Japan Ent. Acad., 1 (5) : 19—26, 2 pls.
- Ohbayashi, K. ; 1960, Studies of Longicornia (5), Ent. Rev. Japan, 11 (1) : 7—8.
- 大林一夫 ; 1960, 日本産天牛類の研究史 (5), 昆虫学評論, 11 (2) : 67—69.
- Ohbayashi, K. ; 1963, Systematic notes and descriptions of new forms in Cerambycidae from Japan, Fragm. Col., 2 : 7—10 ; 3 : 11—12.
- Plavilstshikov, N. N. ; 1931, Bestimmungs-Tabellen der europäischen Coleopteren 100 Heft Cerambycidae. I Teil : 1—99. 1932, 102 Heft Ceramb. II Teil : 1—142. 1934, 112 Heft Ceramb. III Teil : 1—230.

- 坂口総一郎; 1927, 沖縄産昆虫総目録. The provisional lists of the insects collected in Okinawa Islands. 和歌山師範学校.
- Samuelson, G. A. & J. L. Gressitt; 1965, The Cerambycidae (Coleopt.) of the Ryukyu Archipelago I, Pacific Ins., 7 (1) : 47—81, figs.
- Samuelson, G. A.; 1965, The Cerambycidae (Coleopt.) of the Ryukyu Archipelago II, Lamiinae, Pacific Ins., 7 (1) : 82—130, figs.
- Schönfeldt, H. V.; 1890, Ein Beitrag zur Coleopterenfauna der Liu-Kiu-Inseln, Ent. Nachrichten, 16 (11) : 168—175.
- 玉貫光一; 1942, 日本動物分類, 第10巻, 第8編, 第15号, 昆虫・鞘翅目, 天牛科 2, 花天牛亜科 : 1—259, figs.
- 梅林満智也; 1960, 奄美群島沖永良部島の天牛類, 北九州の昆虫, 7 (3) : 71—74, 2 pls.
- Vuillet, A.; 1911, Description d'une nouvelle espèce Japonaise de *Rosalia* appartenant au sous-genre *Eurybatus*, Insecta 1 : 79—82.
- 屋代弘孝; 1927, 沖縄県昆虫目録, 第1. A list of insects in Loochoo Island, 沖縄糖業試験場報告, 1—35.
- 屋代弘孝; 1940, イエカミキリに就て, 沖縄山林会学術報告, (1) : 1—10, 2 pls.

図 版 説 明

1. クサギの枯枝に産卵するヨスジトラカミキリ
2. クスノハカエデの生木に産卵するオオシマゴマグラカミキリ
3. カントンアブラガリの伐採枝に産卵場所をさがすイシガキゴマフカミキリ
4. フカノキ葉上に止るオキナワキンケビロウドカミキリ

1. *Chlorophorus quinquefasciatus* ovipositing on the dead twig of *Clerodendrum trichotomum* Thunb.
2. *Anoplophora oshimana* ovipositing on the living trunk of *Acer itoanum* Li
3. *Mesosa cervinopicta* searching the ovipositing site on the cutting branch of *Aleurites montana* Wils.
4. *Acalolepta permutans okinawana* resting on the leaves of *Schefflera octophylla* Harms

追 加

次の1種が脱落していたので追加する。

223. *Pterolophia yayeyamai* Breuning ヤエヤマサビカミキリ (新称)
Breuning, 1961, Bull. Inst. roy. Sci. nat. Belg., 37 (20) : 9
分布 : 石垣島.

(昭和40年9月30日受領)



